NEC



ハードウェア拡張ガイド

周辺機器を接続する前に

周辺機器を利用する

PC98-NX シリーズ

Mate /Mate R

スリムタワー型
省スペース型
ミニタワー型
マイクロタワー型

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。詳しくは、『はじめにお読みください』「6.マニュアルの使用方法」をご覧ください。

◆ 添付品の確認、本機の接続、Windowsのセットアップ
➡『はじめにお読みください』

◆ 本機を安全に使うための情報
➡『安全にお使いいただくために』

◆ Windowsの基礎知識、基本的な操作方法
Microsoft社製『ファーストステップガイド』または『クイックスタートガイド』

◆ 本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンド
➡『活用ガイド　ハードウェア編』(電子マニュアル)

◆ 本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ方法
➡『活用ガイド　ソフトウェア編』(電子マニュアル)

◆ トラブル解決方法
➡『活用ガイド　ソフトウェア編』(電子マニュアル)

◆ 再セットアップ方法
➡『活用ガイド　再セットアップ編』

このマニュアルです

◆ 本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明
➡『ハードウェア拡張ガイド』(電子マニュアル)

◆ ディスプレイの利用方法
➡ 液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルにより異なります。

◆ 選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法
➡ Office XP Personal、Office XP Professionalがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルにより異なります。

◆ パソコンに関する相談窓口、受講施設、故障時のサービス網および、NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」のご案内
➡『NEC PCあんしんサポートガイド』

Microsoft関連製品の情報について

次のwebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。
http://www.microsoft.com/japan/info/press/

はじめに

　このマニュアルは、本機の内部構造および本機の機能を拡張する機器の取り付け方を説明しています。
　このハードウェア拡張ガイドは、以下の機種について書いてあります。

PC98-NX シリーズ Mate
MA24V/D、MA20V/D、MA18S/D、MA17X/D、MA14T/E、MA13T/E、MA12H/E、MA12H/L、MA24V/M、MA20V/M、MA18S/M

PC98-NX シリーズ Mate R
MA12H/R

　選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。
　仕様についての詳細は、『活用ガイド　ハードウェア編』の「付録」をご覧ください。

2002年 5 月　初版

853-810067-349-A

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左記の記号の場合は、感電の可能性が想定されることを示します。感電注意の他に、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれのマークとともに記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

本機　次の機種を指します。

PC98-NX シリーズ Mate

MA24V/D、MA20V/D、MA18S/D、MA17X/D、MA14T/E、MA13T/E、MA12H/E、MA12H/L、MA24V/M、MA20V/M、MA18S/M

PC98-NX シリーズ Mate R

MA12H/R

＊本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の調べ方・読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。

本体　ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない MA24V/D、MA20V/D、MA18S/D、MA17X/D、MA14T/E、MA13T/E、MA12H/E、MA12H/L、MA24V/M、MA20V/M、MA18S/M、MA12H/Rを指します。

LANモデル	LANボードが実装された状態でご購入いただいたモデルです。
FAXモデル	FAXモデムボードが実装された状態でご購入いただいたモデルです。
RAIDモデル	IDE RAIDボードが実装された状態でご購入いただいたモデルです。
スリムタワー型	次の機種を指します。 MA24V/D、MA20V/D、MA18S/D、MA17X/D
省スペース型	次の機種を指します。 MA14T/E、MA13T/E、MA12H/E、MA12H/L
ミニタワー型	次の機種を指します。 MA24V/M、MA20V/M、MA18S/M
マイクロタワー型	次の機種を指します。 MA12H/R
「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」	Windows XPの「スタート」ボタンをクリックし、表示されたメニューから「マイコンピュータ」を選択する操作のことです。
「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」	Windows 2000/NT/Me/98の「スタート」ボタンをクリックし、表示されたメニューから「設定」を選択して表示されたサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作のことです。 またWindows Meの場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてコントロールパネルのオプションがすべて表示された状態を指します。
『　』	『　』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。
「アプリケーションCD-ROM」	本機添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「アプリケーションCD-ROM/バックアップCD-ROM(OSを除く)/マニュアルCD-ROM」を指します。

◆このマニュアルの本文中で、略して表記されている製品名称

本文中の表記	正式名称
Windows	Microsoft® Windows® XP Professional operating system日本語版、およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版、およびMicrosoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版、およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0日本語版、およびMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版およびMicrosoft® Windows® 98 Second Edition operating system日本語版

Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows NT **Windows NT 4.0**	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版

※ 複数のOSを「Windows XP/2000/Me/98」のように併記する場合があります。

◆ このマニュアルの記載順序

1. 筐体別に次の順序で記載しています。
   スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、マイクロタワー型
2. 筐体が同じ場合、CPUの性能が高い順に記載しています。
3. 省スペース型の場合、機種名の末尾のアルファベット(例. MA14T/Eの場合は、Eになります)を使い、E、Lの順序で記載しています。
4. OSは、次の順序で記載しています。
   Windows XP、Windows 2000、Windows NT、Windows Me、Windows 98

◆このマニュアルで使用しているイラスト

・本機のイラストは、特にことわりのない場合、スリムタワー型はMA24V/D、省スペース型はMA14T/E、ミニタワー型はMA24V/M、マイクロタワー型はMA12H/Rのものを使用しています。

・このマニュアルに記載のイラストは、実際のものとは異なることがあります。

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4） 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5） 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、Windows 2000、Windows NT、Windows Me、Windows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
（7） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（8） ハードウェアの保守情報をセーブしています。
（9） 本書に記載しているWebサイトや連絡先は、2002年4月現在のものです。

■ 輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.
NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.
NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.
*1: NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.

このマニュアルの構成

このマニュアルはPART1からPART6までの構成となっています。
『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、PART1を読んだ後に、必要に応じて該当するページをご覧ください。
また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。
索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容(チェック!!)、用語(用語)、メモ(メモ)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。

目次

索引

PART1　周辺機器を接続する前に

周辺機器を本機に接続する場合に注意しなければならない情報について説明しています。

PART2　周辺機器を利用する(スリムタワー型)

スリムタワー型に接続できる周辺機器の概要とメモリやPCIボードなどの内蔵機器を増設する方法について説明しています。

PART3　周辺機器を利用する(省スペース型)

省スペース型に接続できる周辺機器の概要とメモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を増設する方法について説明しています。

PART4　周辺機器を利用する(ミニタワー型)

ミニタワー型に接続できる周辺機器の概要とメモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を増設する方法について説明しています。

PART5　周辺機器を利用する(マイクロタワー型)

マイクロタワー型に接続できる周辺機器の概要とメモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を増設する方法について説明しています。

PART6　付録

本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

目 次

索　引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

PART

1

周辺機器を接続する前に

ここでは、取り付けられる周辺機器や取り付ける際の注意事項について説明します。

この章の読み方

必ず次ページの「接続前の確認」から順番にお読みください。

この章の内容

接続にともなう注意点

周辺機器を取り付ける場合、次のようなことに注意してください。

接続前の確認

●取り付けたい周辺機器は、本機で使えるものですか?

取り付けたい周辺機器が本機で使えるものかどうか、周辺機器のマニュアルで確認するか、製造元に問い合わせてください。なお、NEC製の周辺機器で接続可否の確認がとれているものについては、NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」で紹介しています。

http://121ware.com/

「レスキュー」→「商品情報」→「商品の適合検索」をご覧ください。

●リソースは確保されていますか?

周辺機器を使うには、「リソース」が必要です。まず、Windows XP/2000/Me/98の場合は「デバイスマネージャ」で、Windows NTの場合は、「Windows NT診断プログラム」で、その周辺機器で使用されるリソースがあいているかどうか確認してください。リソースが足りない場合は、使わない機器や機能のリソースを空けて、その分を取り付けたい周辺機器が使えるよう設定を変更します。

プラグ&プレイ セットアップについて

周辺機器の中には、デバイスドライバ(デバイスのためのソフトウェア)のセットアップが必要なものがあります。

プラグ&プレイとは、取り付けたハードウェアを自動的に検出してセットアップを行うWindows XP/2000/Me/98の機能です。

新しいハードウェアを取り付けると、次に電源を入れたときにWindows XP/2000/Me/98によって自動的に新たなハードウェアが検出され、必要に応じてデバイスドライバウィザードが起動されます。外付けの周辺機器を接続した場合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。なお、Windows NT 4.0はプラグ&プレイによるセットアップはできません。

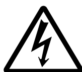
周辺機器にデバイスドライバのフロッピーディスクまたはCD-ROMが添付されている場合は、周辺機器の取扱説明書の指示に従ってセットアップを行ってください。

デバイスドライバの追加について

- 周辺機器によっては、デバイスドライバのセットアップが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、必要なデバイスドライバを組み込んでください。
- デバイスドライバを組み込んだ後、本機の再起動を求められることがあります。その際には他の操作をせずに直ちにWindowsを再起動してください。
- デバイスドライバを組み込んだ後の再起動の際には、通常よりも時間がかかることがあります。正常に再起動されるまで電源は切らないでください。
- Windows XP対応のデバイスドライバが121ware.comで提供されている場合がありますので、定期的に確認してください。

接続時に注意すること

⚠ 注　意



- 雷が鳴り出したら、本機や電源ケーブルに触れたり、周辺機器の取り付け/取り外しをしたりしないでください。
  落雷による感電のおそれがあります。
- 濡れた手で触らないでください。
  電源ケーブルがACコンセントに取り付けられているときに、濡れた手で本体に触ると、感電の原因になります。
- 電源ケーブルがACコンセントに取り付けられているときは、本体のカバー類を取り外さないでください。
  感電の原因になります。
- 周辺機器の取り付け/取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。
  電源ケーブルがACコンセントに取り付けられたまま周辺機器の取り付け/取り外しをすると、本機や周辺機器の故障、場合によっては感電の原因となります。

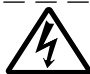


- 本体内部に手を入れるときは、指をはさんだりぶつけたりしないように注意してください。

⚠ 注　意



・本機の使用直後は、CPU、メモリ、CPUやメモリの周辺に触れないでください。
CPU、メモリが高温になっていますので、手を触れるとやけどをすることがあります。カバーを外す場合は、電源を切った後、30分以上たってから行うことをおすすめします。





・本体を、カバーを外した状態で使用しないでください。
感電や火災の原因となります。



・周辺機器は、このマニュアルや周辺機器のマニュアルに従って正しく取り付けてください。
正しく取り付けられていないと、発煙や火災の原因となります。

接続がうまくできない場合

●ケーブルは正しく接続されていますか？
見落としがちなことですが、本機や周辺機器を動かしたときなどに、ケーブルが外れたりすることはよくあります。ケーブルがきちんと接続されているか、確認してください。また、本体内部に機器を取り付けたときには、気付かないうちに内部の信号ケーブルなどを引っぱってしまって、接続がゆるんでしまうことがあります。本体内部のケーブル類がきちんと取り付けられているかどうか、確認してください。

●デバイスドライバは組み込みましたか？ 最新のものですか？
周辺機器を取り付けてもデバイスドライバが組み込まれていないと、使うことはできません。周辺機器のマニュアルをご覧になり、デバイスドライバを組み込んでください。また、周辺機器のデバイスドライバは、知らないうちに改善されて新しくなっていることもあります。「デバイスドライバの組み込み方は正しいのに、うまく動かない」といった場合は、デバイスドライバを最新のものにするとうまく動くようになることもあります。周辺機器の製造元に問い合わせて、最新のデバイスドライバを入手してください。なお、NEC製の最新ドライバはNECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」で提供しています。
　http://121ware.com/
「レスキュー」の「ダウンロード」→「NECサポートプログラム」をご覧ください。

●READMEファイルや、『補足説明』を読みましたか?

アプリケーションに付いているREADMEファイルには、マニュアルやヘルプに記載されていない重要な情報が掲載されていることがあります。また、『補足説明』には、本機をご利用にあたっての注意事項や、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明しています。添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っている「Mate/Mate R電子マニュアル」、または「Mate電子マニュアル」からご覧になれます。また、以下の方法でもご覧になれます。

■Windows XPの場合

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」

■Windows 2000/NT/Me/98の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」

●周辺機器を複数取り付けたため、何が原因かわからなくなっていませんか?

このような場合は、取り付けた機器をいったん全部外します。その後、1つずつ取り付けては本機を起動するという作業を繰り返します。本機が起動できなくなるなどの現象を発生させる機器があったら、その機器に問題があります。リソースの設定やデバイスドライバの設定などが正しくできているか、確認してください。

●トラブルが起きていませんか?

『活用ガイド　ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」からあてはまりそうなトラブルを探してください。あてはまる項目が見つからない場合は、「トラブルを解決するには(ヒント)」をご覧ください。

リソースの競合が起こったら

PCIボードは、プラグ&プレイに対応しているためWindows XP/2000/Me/98の場合は、基本的に設定不要ですが、本機が作動しない場合は、リソースの競合が起こっているかもしれませんのでここをお読みください。最もリソースの競合が起きやすいのは、本機に新しい機器が追加された場合です。Windows XP/2000/Me/98の場合は、新しい機器が検知されたときにシステムの状態が調べられます。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースの競合が起きないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに対応していない場合は、リソースの競合が起こるとドライバを組み込めなくなります。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の保護機能が働くように設定されているからです。ドライバの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコンに黄色い「!」マークや赤い「×」マークが表示されます。Windowsで、リソースの競合が起こっているかどうかは、以下の方法で確認してください。

■Windows XPの場合

1 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

2 「システムタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

3 「ハードウェア」タブの中の「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

表示される「デバイスマネージャ」で確認できます。

■Windows 2000の場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「システム」をダブルクリック

3 「ハードウェア」タブの中の「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

表示される「デバイスマネージャ」で確認できます。

■Windows NTの場合

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「管理ツール」→「Windows NT診断プログラム」をクリック

「Windows NT診断プログラム」で確認できます。

■Winodws Me/98の場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「システム」をダブルクリック

「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」タブで確認できます。


チェック!!

- USB接続のキーボードとマウスをご使用の場合は、「101/102英語キーボード」、「Microsoft Natural PS/2キーボード」、または「PS/2互換マウス」に黄色い「!」が表示される場合がありますが、異常ではありません。
- Windows Meの場合、「USB Universal Host Controller」に緑の「?」が表示される場合がありますが、異常ではありません。

異常が表示された場合は、まずその機器のプロパティを開いてください。「デバイスの状態」の欄に、異常の原因が表示されます。異常の原因がリソースの競合であった場合は、次の方法で解決することができます。

■Winodws XP/2000の場合

1 「リソース」タブを開く

2 「自動設定」のチェックを外す

3 「設定の登録名」で別の構成を選んでから、「設定の変更」をクリック

■Windows Meの場合

1 「リソース」タブを開く

2 「自動設定」のチェックを外す

3 「基本にする設定」で別の構成を選んでから、「設定の変更」をクリック

■Windows 98の場合

1 「リソース」タブを開く

2 「自動設定を行う」のチェックを外す

3 「リソースの種類」から競合しているリソースを選択し、ダブルクリック

4 表示されたリソースの設定値を変更する

 チェック!!

選択した機器やリソースの種類によっては、設定値を変更できない場合があります。その場合、競合を起こしているもう一方の機器の設定値を変更してください。なお、本機のリソースについては、『活用ガイド　ハードウェア編』「付録」の「割り込みレベル・DMAチャネル」をご覧ください。

PART

2

周辺機器を利用する

（スリムタワー型）

ここでは、スリムタワー型に取り付けられる周辺機器や内蔵機器の取り付け方法について説明します。

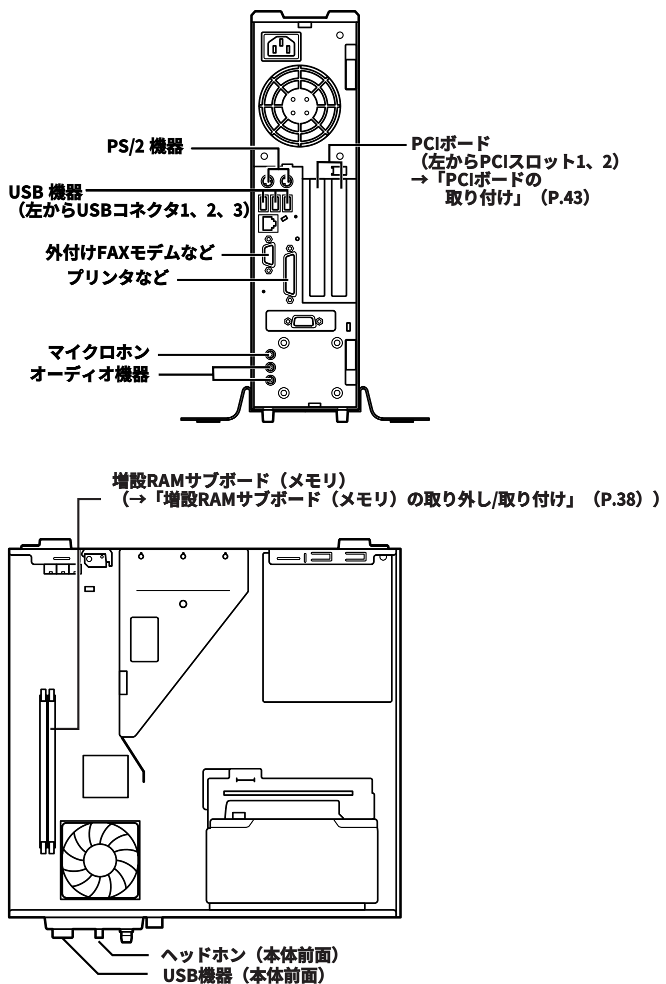
この章の読み方

次ページの「接続できる周辺機器」を読んだ後に、目的にあわせて該当するページを読んでください。

この章の内容

接続できる周辺機器

スリムタワー型には、次のような別売りの周辺機器を取り付けられます。



本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を取り付けるときなどに必要なカバー類の取り外し方について説明します。

ルーフカバーの取り外し

メモリやPCIボードなどの内蔵機器を取り付ける場合は、本体のルーフカバーを取り外す必要があります。

1 本機の電源を切る

2 本体に接続されているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外す

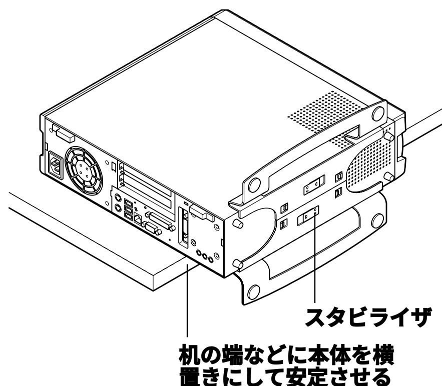
3 盗難防止用の錠を使用している場合は、取り外す

4 横置きにしている場合は、手順8へ進む
縦置きにしている場合は、本体を横に置く

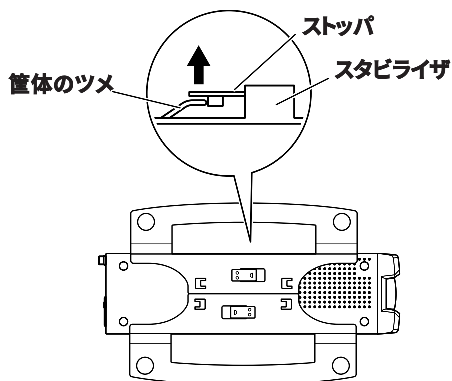
チェック!! **スタビライザを取り外したときに、本体が衝撃を受けないよう、机の端などでスタビライザの取り外しを行ってください。**



本体を横に置くときは、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。



5 スタビライザのストッパを手前に引いて、筐体のツメからストッパを外す

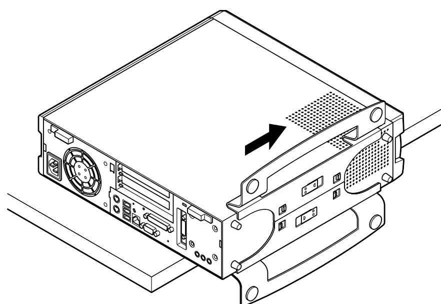


6 上側に付いているスタビライザを右方向に引いて、本体から取り外す

⚠注意

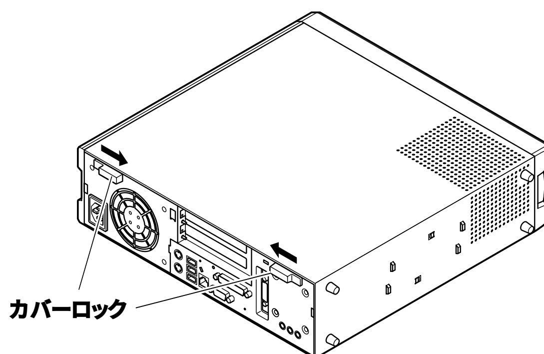


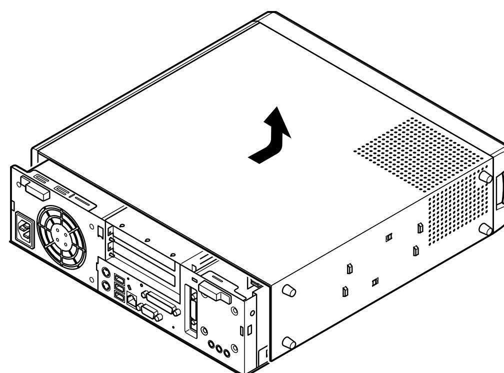
スタビライザを本体から取り外すときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



7 もう一方のスタビライザも手順5、手順6と同じ方法で取り外す

8　カバーロックを内側に押してから、ルーフカバーを少し前方に引き出し、上方向に持ち上げて取り外す

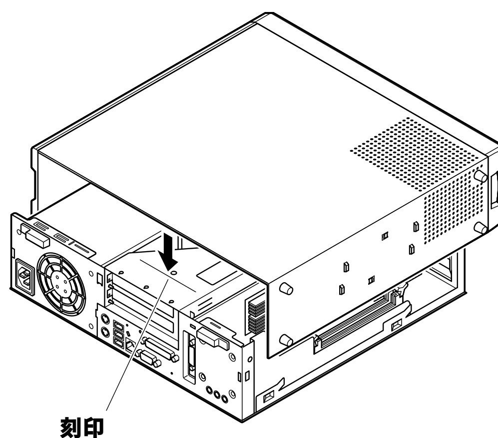


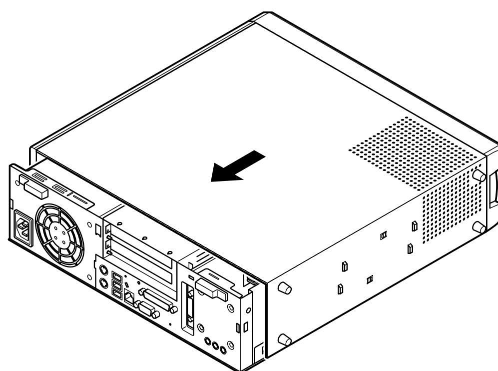


ルーフカバーの取り付け

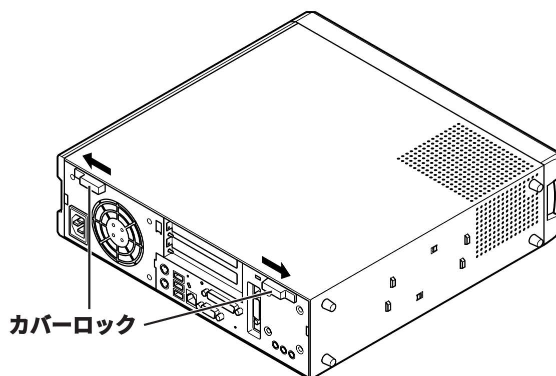
ルーフカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けやすくなっています。

1 **ルーフカバーをPCIユニットの刻印に合わせてから、背面側にスライドさせる**



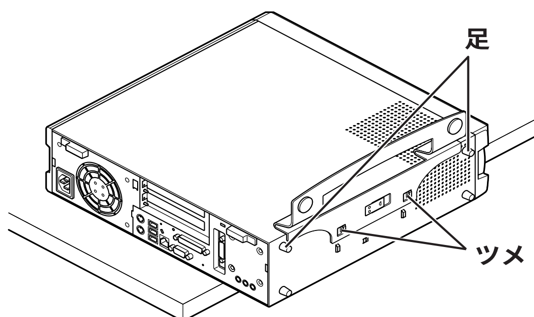


2 カバーロックを外側に押して、ロックする



3 横置きで使用する場合は、手順7へ進む
縦置きで使用する場合は、机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

4 片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせる

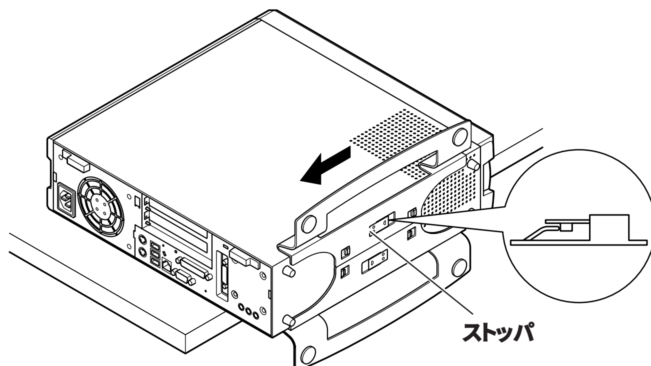


5 スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

⚠注意



スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



6 もう一方のスタビライザも、手順4、手順5と同じ方法で取り付け、縦置きにする

7 盗難防止用の錠を使用する場合は、錠を取り付ける

8 ケーブル類(電源ケーブル、アース線など)を必要に応じて取り付ける

ケーブルストッパの取り付け/取り外し

キーボードやマウスの盗難防止とともに、ケーブル抜け防止のために、ケーブルストッパでケーブルを本体に固定します。

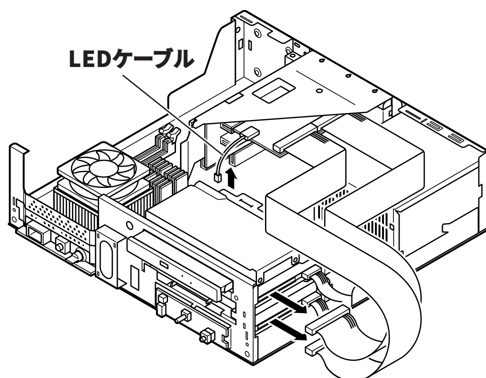
取り付け前の確認

本機にケーブルストッパを取り付ける前に、ケーブルストッパが、本機に添付されていることを確認してください。

ケーブルとケーブルストッパの取り付け

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.25)

2 RAIDモデル以外のモデルは手順3へ進む
RAIDモデルの場合は、ハードディスクドライブに接続されている信号ケーブルを取り外し、LEDケーブルをマザーボードから取り外す

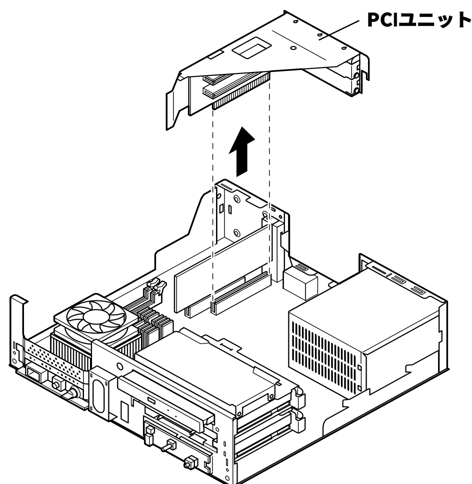


3 PCIユニットをマザーボードから引き抜くようにして取り外す

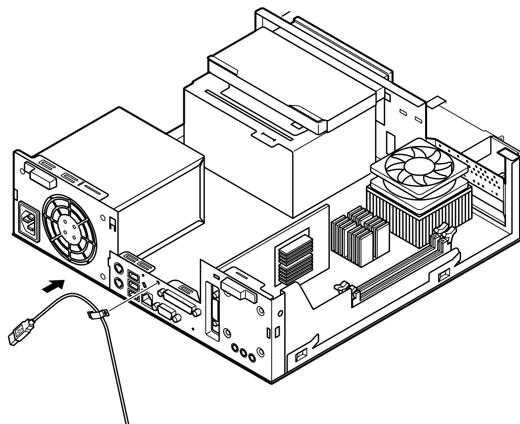
⚠注意



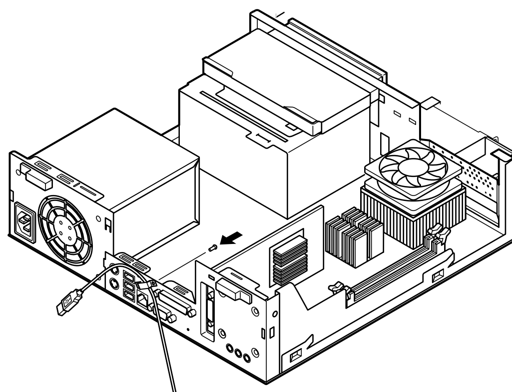
PCIユニットをマザーボードから引き抜くときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



4 本機に添付のケーブルストッパのツメ(ネジ穴の空いていない方)を本体の溝に差し込み、キーボード、PS/2接続マウスケーブルの上からケーブルストッパを被せる



5 ケーブルストッパのネジ穴と本体のネジ穴を合わせて、本体内側からケーブルごとケーブルストッパを、本機に添付のネジで止める

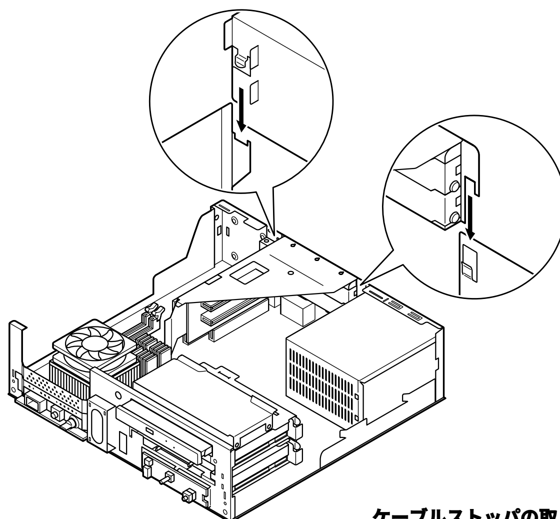


6 ツメに注意しながら、PCIユニットをマザーボードに差し込み、取り付ける

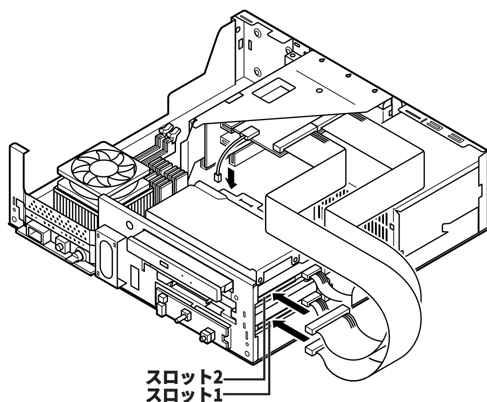
⚠注意



PCIユニットをマザーボードに差し込むときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



7 **RAIDモデル以外のモデルは、手順8へ進む**
RAIDモデルの場合は、ハードディスクドライブのスロット2（上側）に「IDE 2」、スロット1（下側）に「IDE 1」の表示名札の付いた信号ケーブルを元のように取り付け、マザーボードにLEDケーブルを取り付ける

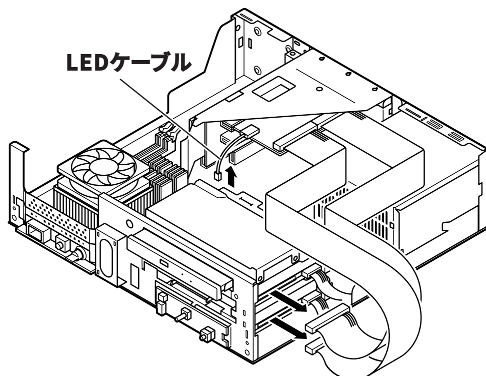


8 **「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける（P.28）**

ケーブルとケーブルストッパの取り外し

1 **「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す（P.25）**

2 **RAIDモデル以外のモデルは手順3へ進む**
RAIDモデルの場合は、ハードディスクドライブに接続されている信号ケーブルを取り外し、LEDケーブルをマザーボードから取り外す

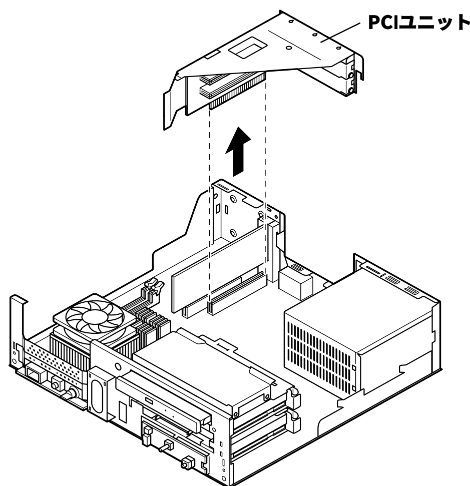


3 **PCIユニットをマザーボードから引き抜くようにして取り外す**

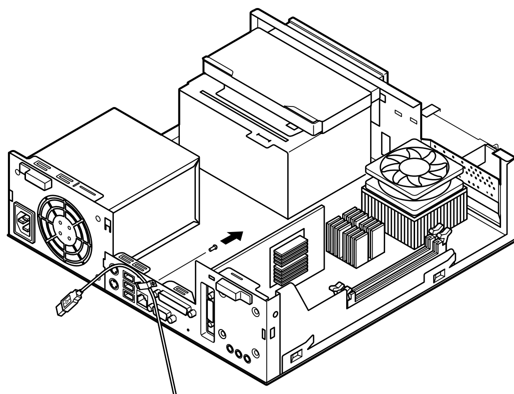
⚠注意



PCIユニットをマザーボードから引き抜くときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



4 本体内側からネジを外して、ケーブルストッパとケーブルを本体から取り外す

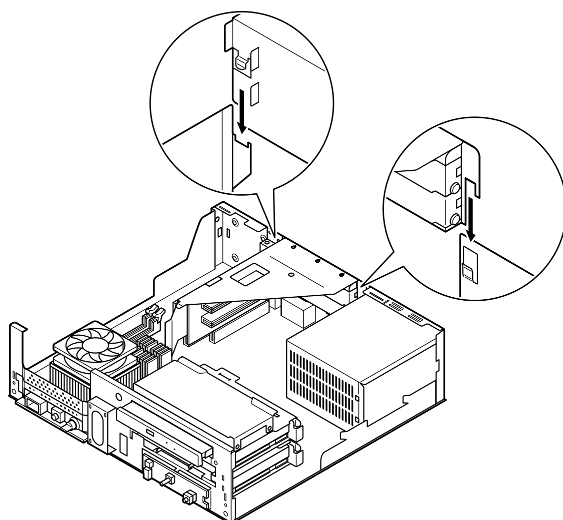


5 ツメに注意しながら、PCIユニットをマザーボードに差し込み、取り付ける

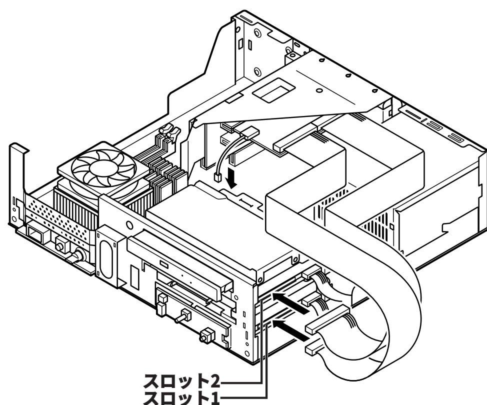
⚠注意



PCIユニットをマザーボードに差し込むときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



6 **RAIDモデル以外のモデルは、手順7へ進む**
RAIDモデルの場合は、ハードディスクドライブのスロット2（上側）に「IDE 2」、スロット1（下側）に「IDE 1」の表示名札の付いた信号ケーブルを元のように取り付け、マザーボードにLEDケーブルを取り付ける



7 **「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける（P.28）**

増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、別売の増設RAMサブボードを取り付けることで、メモリを増やすことができます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAMサブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。

取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、増設RAMサブボードを1枚単位で、最大2枚まで取り付けられます。取り付け可能な増設RAMサブボードについては、NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」で紹介しています。

　http://121ware.com/

「レスキュー」→「商品の適合検索」をご覧ください。

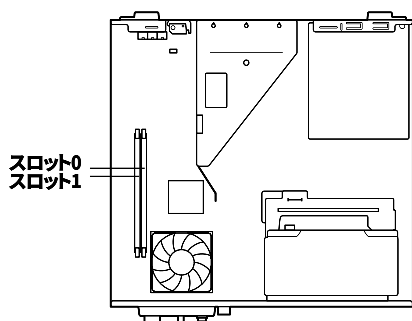
スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。スロット0から順番に取り付けることになります。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット0	スロット1
128MB	128MB	―
256MB	256MB	―
	128MB	128MB
384MB	256MB	128MB
512MB	512MB	―
	256MB	256MB
1GB(1024MB)	512MB	512MB

スロットの位置

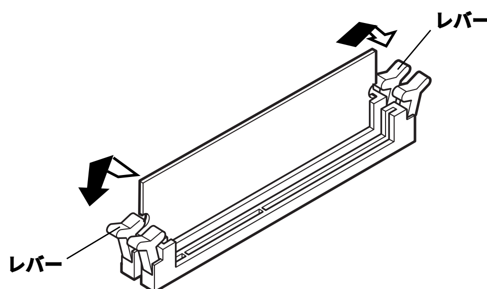


増設RAMサブボードの取り外し

チェック!! **増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。**

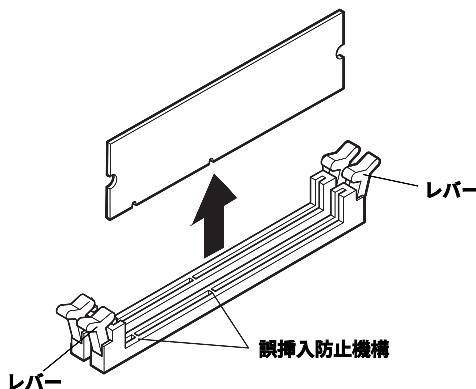
1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.25)

2 増設RAMサブボードの左右のレバーを外側に広げる



3 増設RAMサブボードを上へ引きぬくようにして取り外す

取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて保管してください。



4 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける(P.28)

増設RAMサブボードの取り付け

チェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

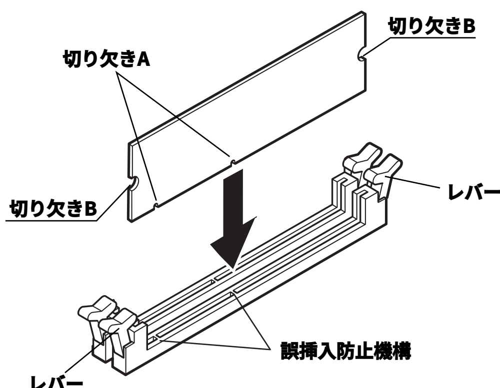
1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.25)

2 左右のレバーが外側に開いていない場合は、外側に広げてから、増設RAMサブボードを切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込み、取り付ける

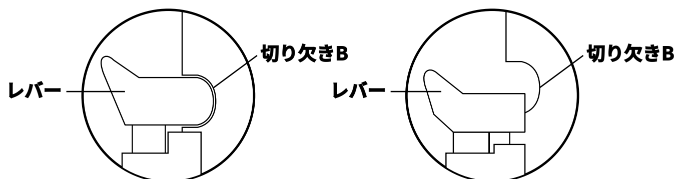
スロット0、1の順番に取り付けてください。



チェック!! 増設RAMサブボードには、向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。



3 左右2カ所のレバーが切り欠きBに掛かるように、増設RAMサブボードをしっかり押し込む





チェック!! 増設RAMサブボードがしっかり押し込まれたことを確認してください。しっかり押し込まれていないと故障の原因となります。

4 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける(P.28)

メモリ取り付け後は、「メモリ容量の確認方法」に従って、取り付けが正しく行われたかどうか確認してください。

メモリ容量の確認方法

■Windows XPの場合

1 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

2 「システムタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。

■Windows 2000の場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「システム」をダブルクリック

「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。



- 『活用ガイド　ハードウェア編』「PART2　システム設定(スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型の場合)」「Mainの設定」の「Extended Memory」でも確認することができます。メモリの容量を確認すると、搭載されている容量より数MB少ない容量が表示されることがあります。これはメインメモリがシステムに割り当てられるためで、故障ではありません。
- 電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまでの時間は、メモリの容量によって変わってきます。これは、メモリの初期化のためです。512MB2枚増設した場合、約7秒かかります。



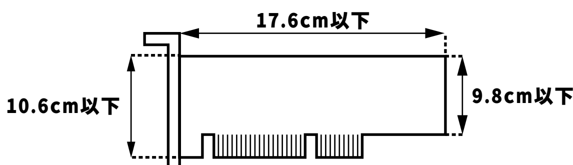
表示されたメモリが正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してください。

PCIボードの取り付け

PCIスロットには、本機の機能を拡張するための各種PCIボードを取り付けることができます。

取り付け前の確認

PCIボードを取り付ける場合、以下の取り付け条件を参照してください。



PCIスロット2	横幅17.6cm以下、奥行10.6cm以下。RAIDモデルの場合、IDE RAIDボード内蔵。
PCIスロット1	横幅17.6cm以下、奥行10.6cm以下。



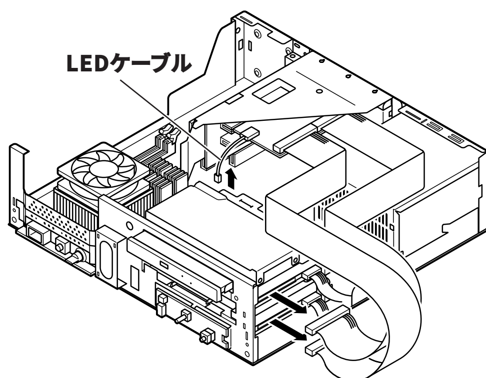
- **工場出荷時に実装されているIDE RAIDボードを他のPCIスロットに付け替えると故障の原因になることがありますので、PCIボードを増設する際には、必ず工場出荷時の状態で空いているスロットに取り付けてください。**
- **RAIDモデルの場合、拡張ROMを搭載した拡張PCIボード(SCSIなど)は、ご利用いただけません。**

PCIボードの取り付け

チェック!! **PCIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCIボードを扱うと、PCIボードを破損させる原因となります。PCIボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。**

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.25)

2 RAIDモデル以外のモデルは手順3へ進む
RAIDモデルの場合は、ハードディスクドライブに接続されている信号ケーブルを取り外し、LEDケーブルをマザーボードから取り外す

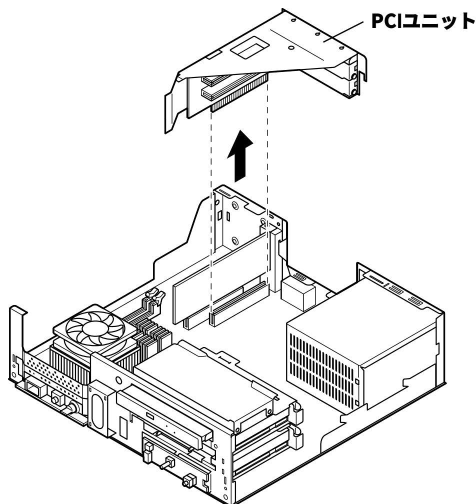


3 PCIユニットをマザーボードから引き抜くようにして取り外す

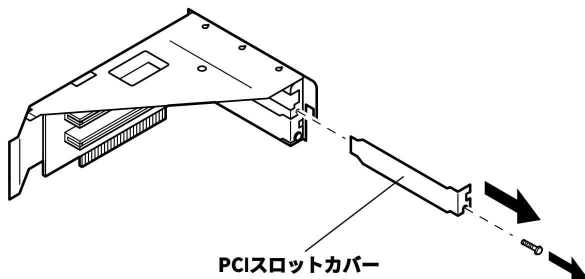
⚠注意



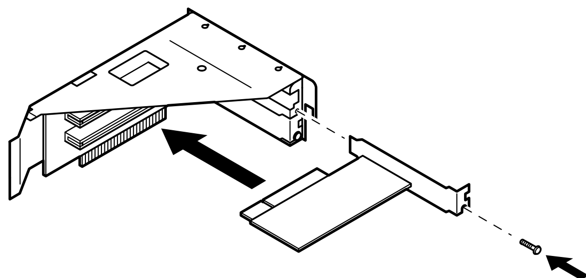
PCIユニットをマザーボードから引き抜くときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



4 PCIスロットカバーのネジを外し、PCIスロットカバーを取り外す



5 PCIボードを取り付け、手順4で取り外したネジを取り付ける

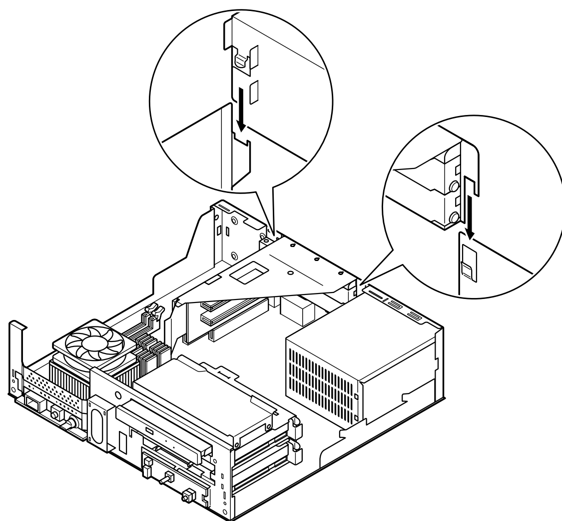


6 ツメに注意しながら、PCIユニットをマザーボードに差し込み、取り付ける

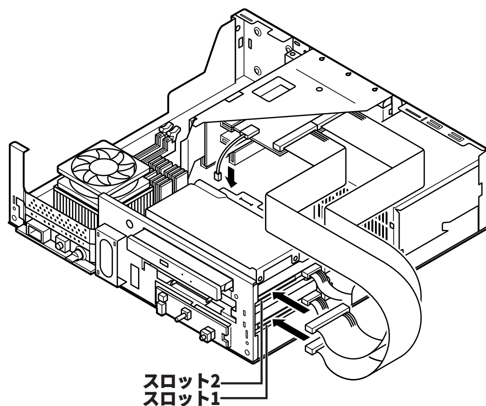
⚠注意



PCIユニットをマザーボードに差し込むときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



7 **RAIDモデル以外のモデルは、手順8へ進む**
RAIDモデルの場合は、ハードディスクドライブのスロット2（上側）に「IDE 2」、スロット1（下側）に「IDE 1」の表示名札の付いた信号ケーブルを元のように取り付け、マザーボードにLEDケーブルを取り付ける



8 **「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける（P.28）**

ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け

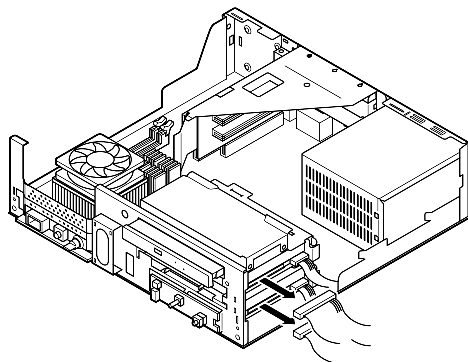
内蔵3.5インチベイ

内蔵3.5インチベイにハードディスクドライブが2台内蔵されているモデル(RAIDモデルは除く)では、内蔵されているハードディスクドライブを取り外して、交換用のハードディスクドライブを取り付けることができます。
ハードディスクドライブを交換したい場合は、「ハードディスクドライブの取り付け(ハードディスクドライブの交換)」へ進んでください。
ハードディスクドライブを取り外して、交換しない場合は、「ハードディスクドライブの取り外し」(P.52)へ進んでください。

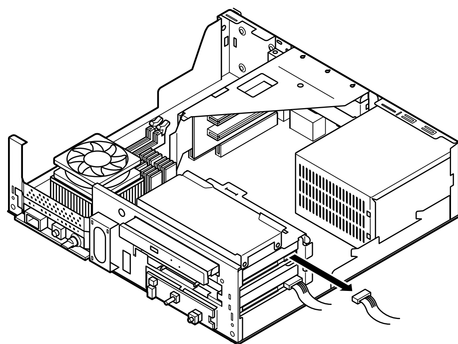
ハードディスクドライブの取り付け(ハードディスクドライブの交換)

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.25)

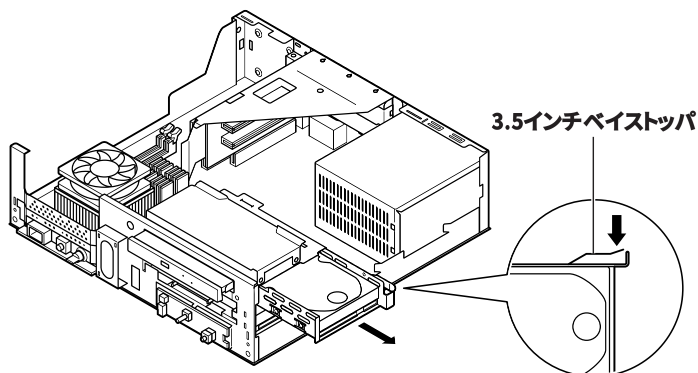
2 取り付けてあるすべてのハードディスクドライブから、信号ケーブルを取り外す



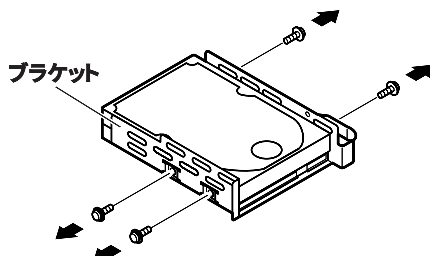
3 **取り外そうとしているハードディスクドライブの電源ケーブルを取り外す**



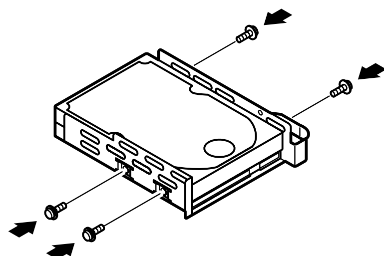
4 **3.5インチベイストッパを押しながら、ハードディスクドライブを手前に引き出す**



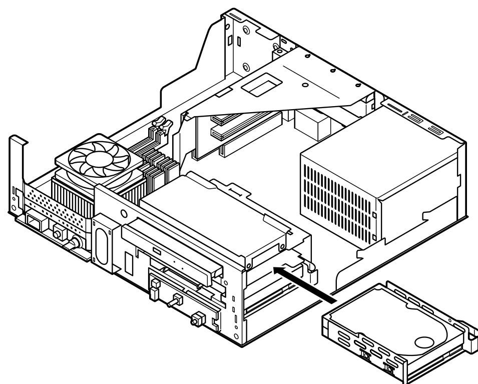
5 **ネジ4ヵ所(左右2ヵ所)を外して、ハードディスクドライブをブラケットから取り外す**



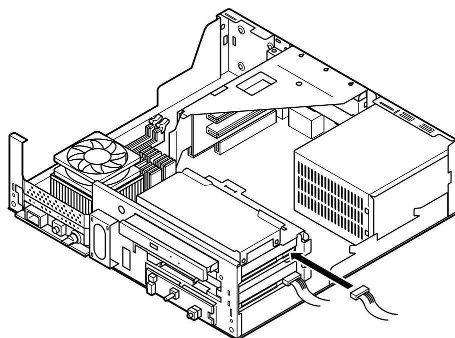
6 手順5で取り外したブラケットと、交換用のハードディスクドライブをネジ穴に合わせて、手順5で取り外したネジで4ヵ所（左右2ヵ所）ネジ止めして取り付ける



7 交換用のハードディスクドライブをカチッと音がするまで押し込む

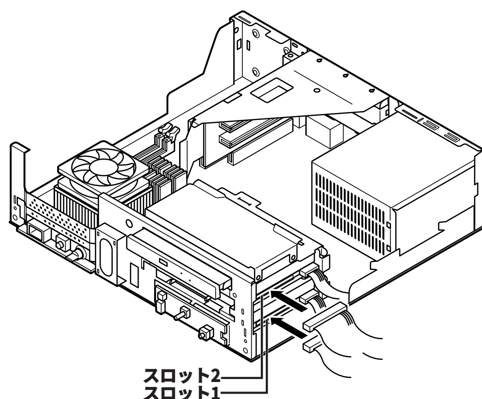


8 手順7で取り付けたハードディスクドライブに電源ケーブルを取り付ける



9 ハードディスクドライブが2台取り付けられている場合は、「SLAVE」の表示名札が付いている信号ケーブルのコネクタをスロット2（上側）に取り付けられているハードディスクドライブのコネクタに取り付け、スロット1（下側）に取り付けられているハードディスクドライブに、「MASTER」の表示名札が付いている信号ケーブルを取り付ける

ハードディスクドライブが1台取り付けられている場合は、「MASTER」の表示名札が付いている信号ケーブルを取り付ける

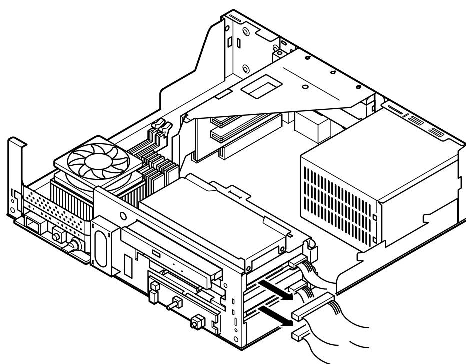


10 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける（P.28）

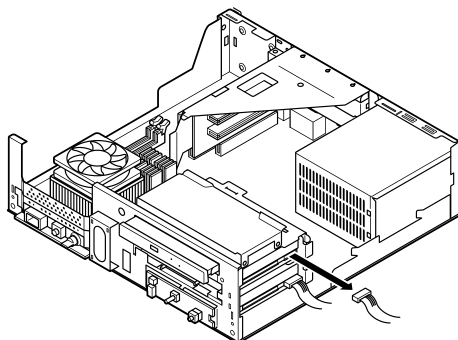
ハードディスクドライブの取り外し

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す（P.25）

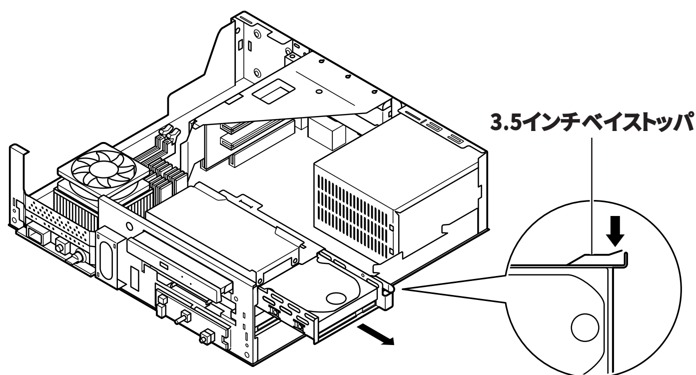
2 取り付けてあるすべてのハードディスクドライブから、信号ケーブルを取り外す



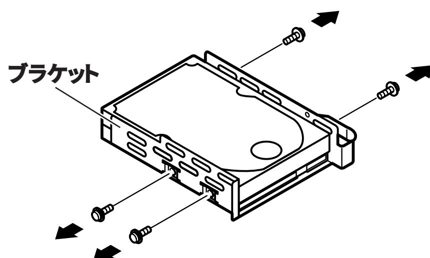
3 取り外そうとしているハードディスクドライブの電源ケーブルを取り外す



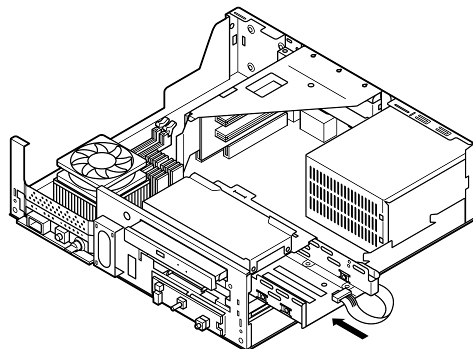
4 **3.5インチベイストッパを押しながら、ハードディスクドライブを手前に引き出す**



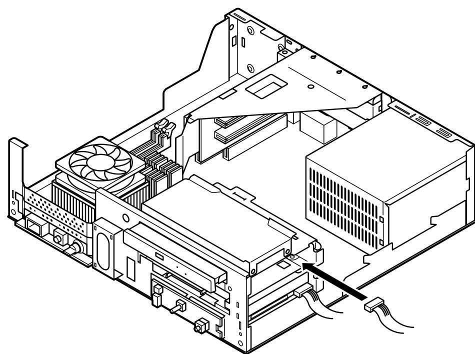
5 **ネジ4ヵ所(左右2ヵ所)を外して、ハードディスクドライブをブラケットから取り外す**



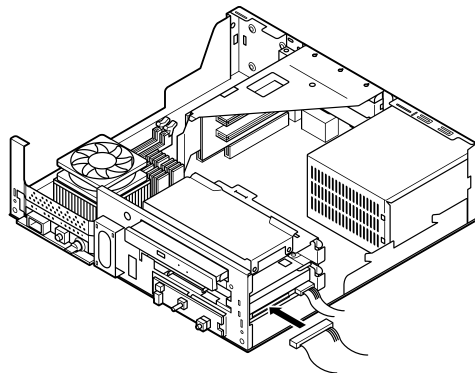
6 **手順5で取り外したブラケットをカチッと音がするまで空いているスロットに押し込む**



7 手順3で取り外した電源ケーブルを内蔵3.5インチベイの空いているスロットに押し込む



8 「MASTER」の表示名札が付いている信号ケーブルをハードディスクドライブに取り付ける



9 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける（P.28）

PART

3

周辺機器を利用する

（省スペース型）

ここでは、省スペース型に取り付けられる周辺機器や内蔵機器の取り付け方法について説明します。

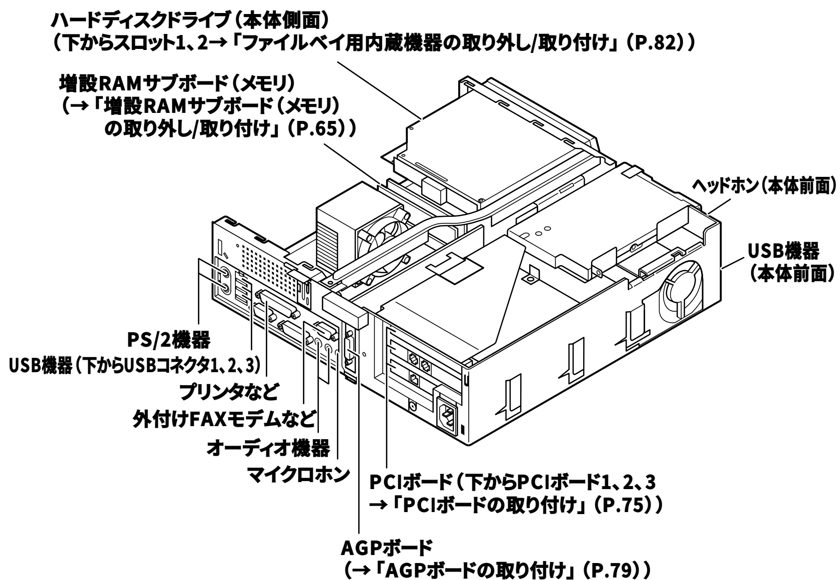
この章の読み方

次ページの「接続できる周辺機器」を読んだ後に、目的にあわせて該当するページを読んでください。

この章の内容

接続できる周辺機器

省スペース型には、次のような別売の周辺機器を取り付けられます。



本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を取り付けるときなどに必要なカバー類の取り外し方について説明します。

ルーフカバーの取り外し

メモリやPCIボードなどの内蔵機器を取り付ける場合は、本体のルーフカバーを取り外す必要があります。

1 本機の電源を切る

2 本体に接続されているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外す

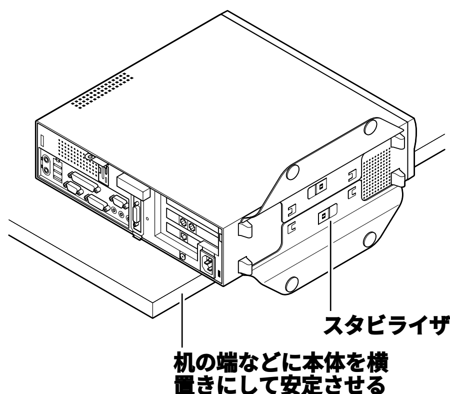
3 盗難防止用の錠を使用している場合は、取り外す

4 横置きにしている場合は、手順8へ進む
縦置きにしている場合は、本体を横に置く

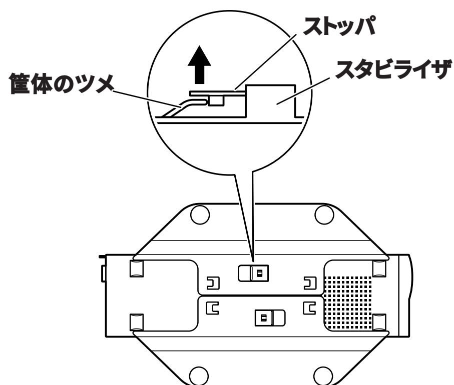
チェック!! **スタビライザを取り外したときに、本体が衝撃を受けないよう、机の端などでスタビライザの取り外しを行ってください。**



本体を横に置くときは、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。



5 スタビライザのストッパを手前に引いて、筐体のツメからストッパを外す

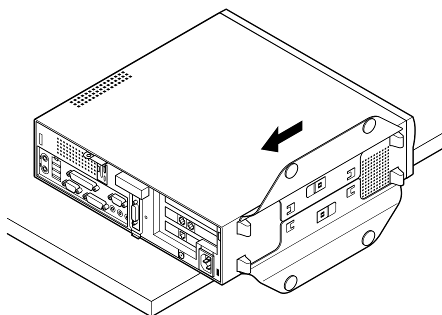


6 上側に付いているスタビライザを左方向に引いて、本体から取り外す

⚠注意

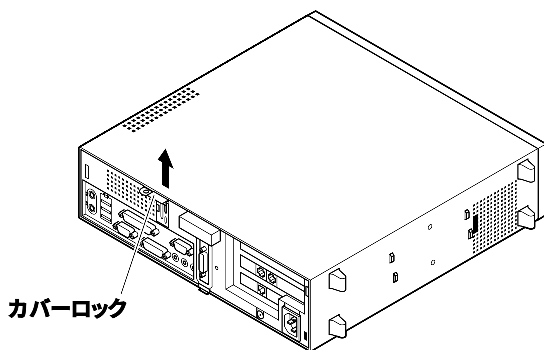


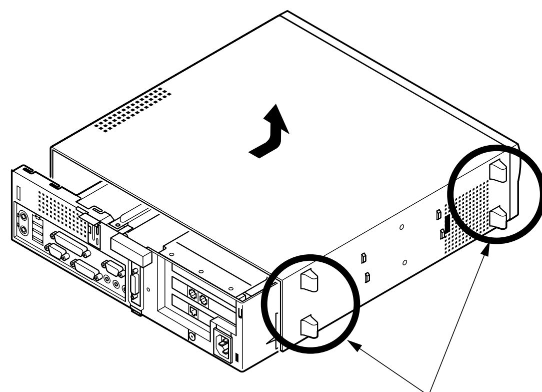
スタビライザを本体から取り外すときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



7 もう一方のスタビライザも手順5、手順6と同じ方法で取り外す

8 カバーロックを上に引き上げてから、ルーフカバーを少し前方に引き出し、上方向に持ち上げて取り外す

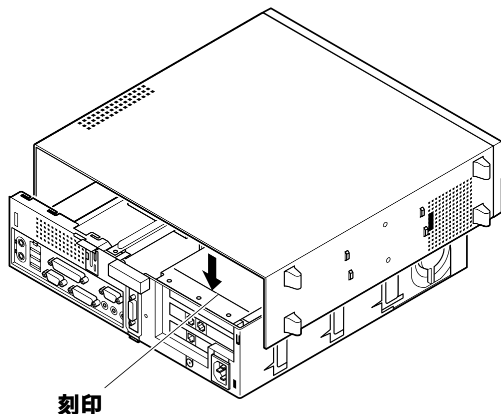




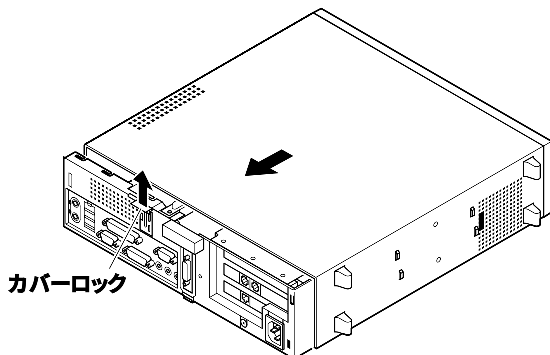
ルーフカバーの取り付け

ルーフカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けやすくなっています。

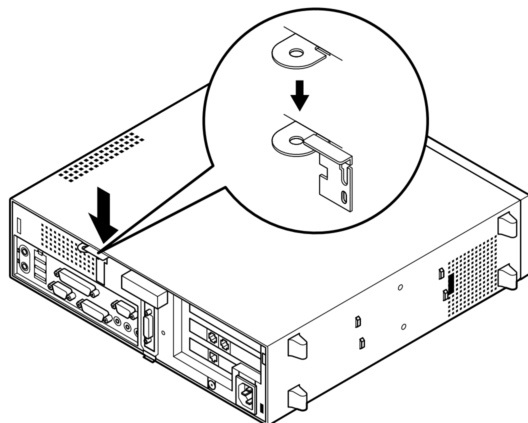
1　ルーフカバーを本体の刻印に合わせてかぶせる



2　カバーロックを上に引き上げた状態で、ルーフカバーを背面側にスライドさせる

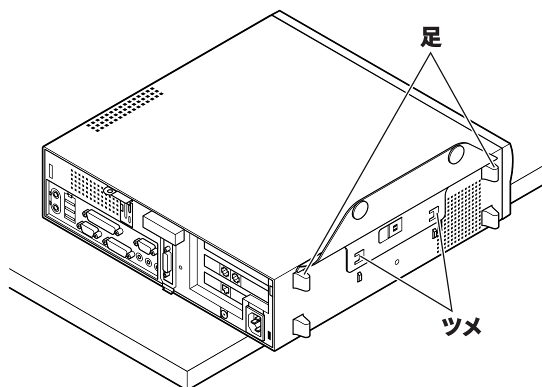


3 筐体ロックの切り欠きにカバーロックを差し込むようにして、カバーロックを押し下げる



4 横置きで使用する場合は、手順8へ進む
縦置きで使用する場合は、机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

5 片方のスタビライザを本体のツメと足にあわせる

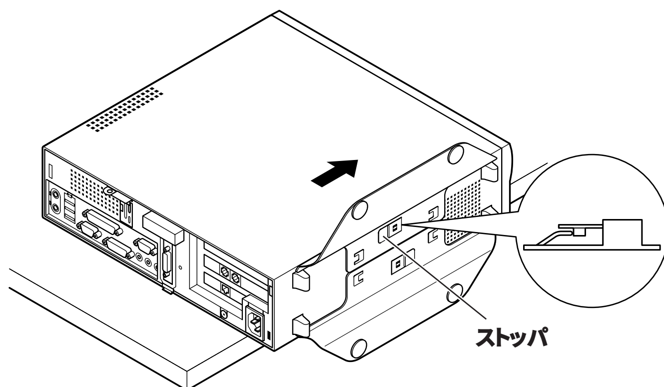


6 スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

⚠注意



スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



7 もう一方のスタビライザも、手順5、手順6と同じ方法で取り付け縦置きにする

8 盗難防止用の錠を使用する場合は、錠を取り付ける

9 ケーブル類（電源ケーブル、アース線など）を必要に応じて取り付ける

ケーブルストッパの取り付け/取り外し

キーボードやマウスの盗難防止とともに、ケーブル抜け防止のために、ケーブルストッパでケーブルを本体に固定します。

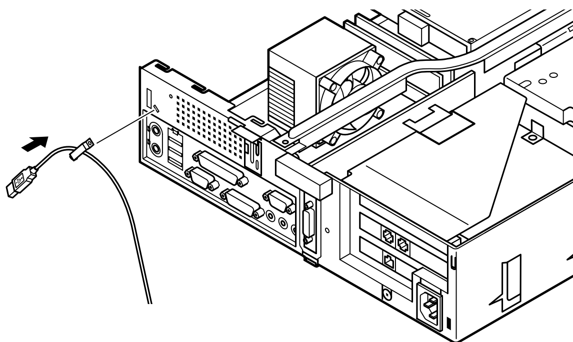
取り付け前の確認

本機にケーブルストッパを取り付ける前に、ケーブルストッパが、本機に添付されていることを確認してください。

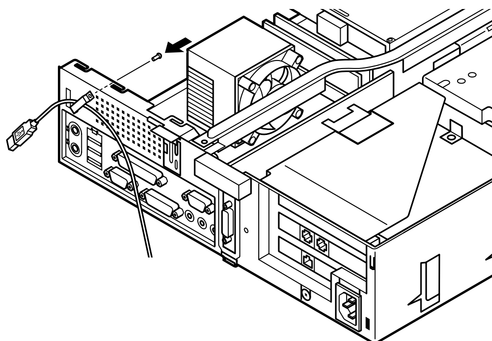
ケーブルとケーブルストッパの取り付け

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す (P.57)

2 本機に添付のケーブルストッパのツメ(ネジ穴の空いていない方)を本体の溝に差し込み、キーボード、PS/2接続マウスケーブルの上からケーブルストッパを被せる



3 ケーブルストッパのネジ穴と本体のネジ穴を合わせて、本体内側からケーブルごとケーブルストッパを、本機に添付のネジで止める

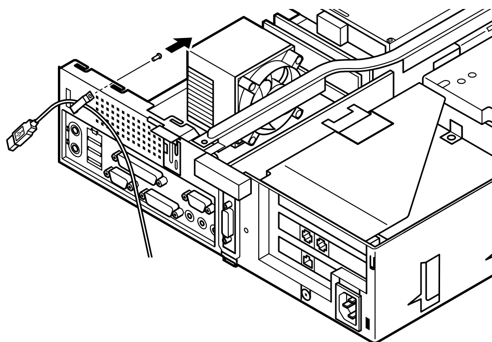


4 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける(P.60)

ケーブルとケーブルストッパの取り外し

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.57)

2 本体内側からネジを外して、ケーブルストッパとケーブルを本体から取り外す



3 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける(P.60)

増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、別売の増設RAMサブボードを取り付けることで、メモリを増やすことができます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAMサブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。


Windows Meまたは、Windows 98を使用する場合、増設可能な最大メモリ容量は、512MBです。

取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、増設RAMサブボードを1枚単位で、最大2枚まで取り付けられます。
取り付け可能な増設RAMサブボードについては、NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」で紹介しています。
http://121ware.com/
「レスキュー」→「商品の適合検索」をご覧ください。

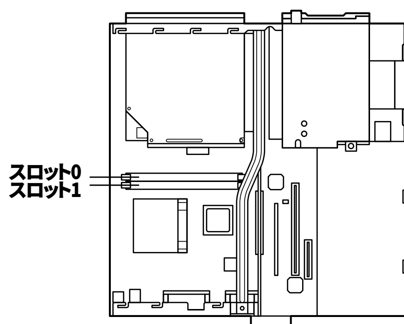
スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。スロット0から順番に取り付けることになります。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット0	スロット1
128MB	128MB	—
192MB	128MB	64MB
256MB	256MB	—
	128MB	128MB
320MB	256MB	64MB
384MB	256MB	128MB
512MB	256MB	256MB

スロットの位置

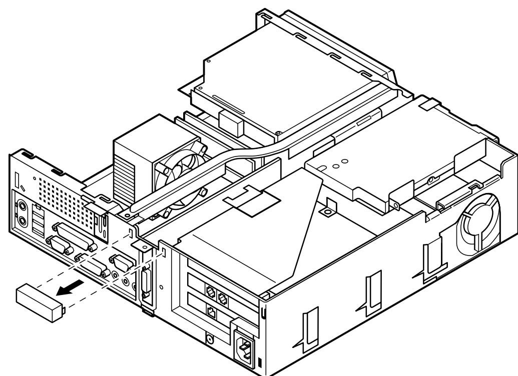


増設RAMサブボードの取り外し

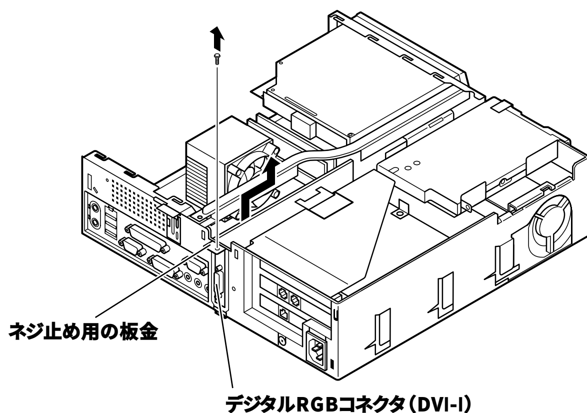
チェック!! **増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。**

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.57)

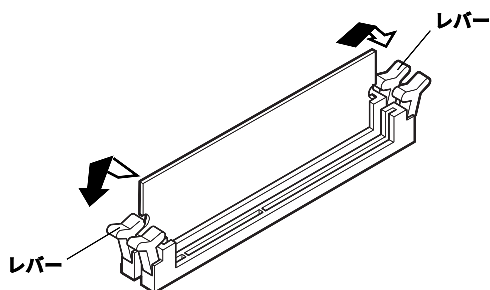
2 GeForce2 MXを選択しないモデルの場合は、手順4へ進む GeForce2 MXを選択したモデルの場合は、AGPスロットカバーを取り外す



3 ネジを取り外して、デジタルRGBコネクタ(DVI-I)がネジ止め用の板金に引っ掛からないように、AGPボードを取り外す

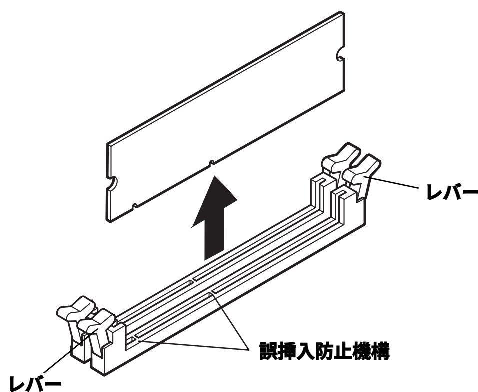


4 増設RAMサブボードの左右のレバーを外側に広げる



5 増設RAMサブボードを上へ引き抜くようにして取り外す

取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて保管してください。

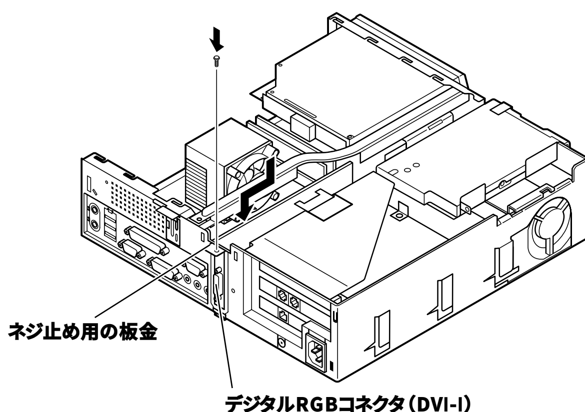


6 GeForce2 MXを選択しないモデルの場合は、手順8へ進む GeForce2 MXを選択したモデルの場合は、デジタルRGBコネクタ(DVI-I)がネジ止め用の板金に引っ掛からないように、AGPボードをマザーボード側のコネクタに差し込み、手順3で取り外したネジで取り付ける

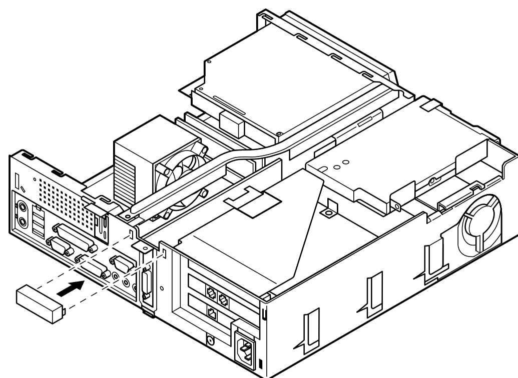
⚠注意



AGPボードをマザーボードに取り付ける際、AGPボードの下を通っているケーブルを挟まないように注意してください。



7 AGPスロットカバーを取り付ける



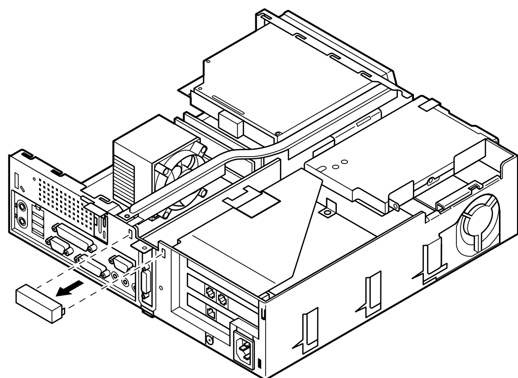
8 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける(P.60)

増設RAMサブボードの取り付け

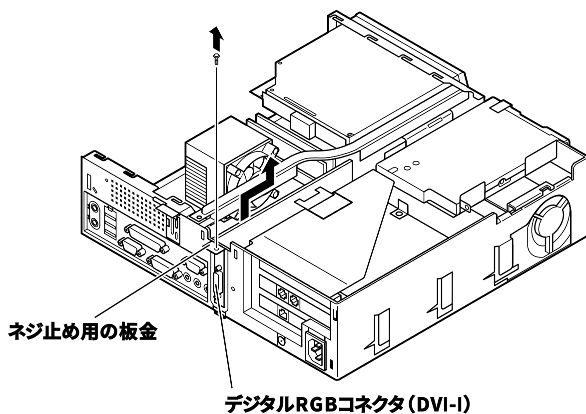
チェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.57)

2 GeForce2 MXを選択しないモデルの場合は、手順4へ進む
GeForce2 MXを選択したモデルの場合は、AGPスロットカバーを取り外す



3 ネジを取り外して、デジタルRGBコネクタ(DVI-I)がネジ止め用の板金に引っ掛からないように、AGPボードを取り外す

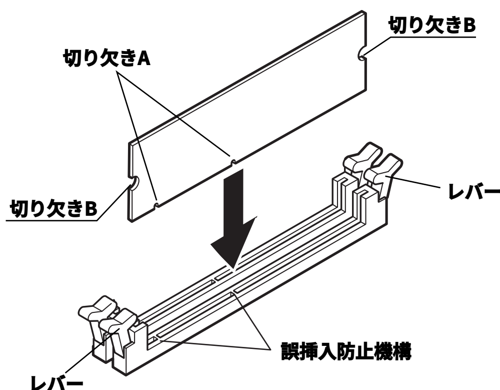


4 左右のレバーが外側に開いていない場合は、外側に広げてから、増設RAMサブボードを切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込み、取り付ける

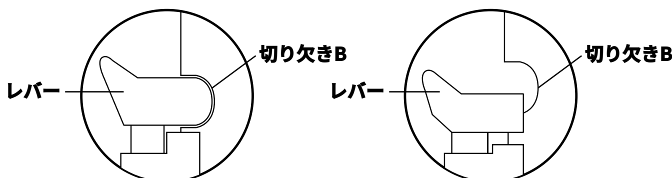
スロット0、1の順番に取り付けてください。



増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。



5 左右2ヵ所のレバーが切り欠きBに掛かるように、増設RAMサブボードをしっかり押し込む



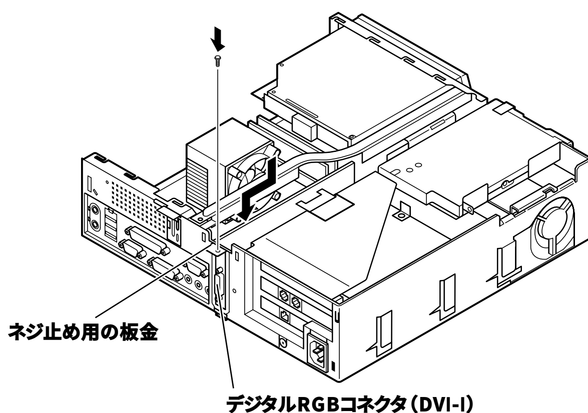
チェック!! **増設RAMサブボードがしっかり押し込まれたことを確認してください。しっかり押し込まれていないと故障の原因となります。**

6 GeForce2 MXを選択しないモデルの場合は、手順8へ進む
GeForce2 MXを選択したモデルの場合は、デジタルRGBコネクタ(DVI-I)がネジ止め用の板金に引っ掛からないように、AGPボードをマザーボード側のコネクタに差し込み、手順3で取り外したネジで取り付ける

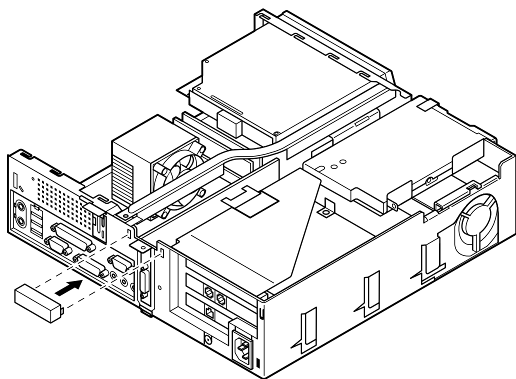
⚠注意



AGPボードをマザーボードに取り付ける際、AGPボードの下を通っているケーブルを挟まないように注意してください。



7 AGPスロットカバーを取り付ける



8 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける（P.60）

メモリ取り付け後は、「メモリ容量の確認方法」に従って、取り付けが正しく行われたかどうか確認してください。

メモリ容量の確認方法

■Windows XPの場合

1 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

2 「システムタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。

■Windows 2000/NT/Me/98の場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「システム」をダブルクリック

「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。


チェック!!

- 『活用ガイド　ハードウェア編』「PART2　システム設定(スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型の場合)」「Mainの設定」の「Extended Memory」でも確認することができます。メモリの容量を確認すると、搭載されている容量より数MB少ない容量が表示されることがあります。これはメインメモリがシステムに割り当てられるためで、故障ではありません。
- 電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまでの時間は、メモリの容量によって変わってきます。これは、メモリの初期化のためです。256MB2枚増設した場合、約9秒かかります。

メモ

表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してください。

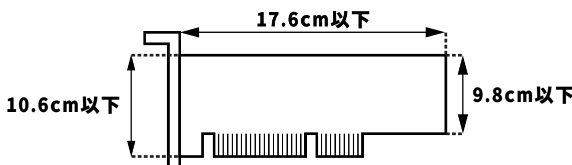
PCIボードの取り付け

PCIスロットには、本機の機能を拡張するための各種PCIボードを取り付けることができます。

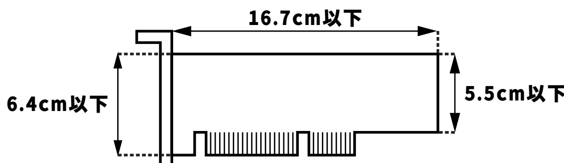
取り付け前の確認

PCIボードを取り付ける場合、以下の取り付け条件を参照してください。

■PCIスロット3、2の場合



■PCIスロット1の場合



	LANモデル	FAXモデル
PCIスロット3	横幅17.6cm以下、奥行10.6cm以下。	
PCIスロット2	横幅17.6cm以下、奥行10.6cm以下。	FAXモデムボード標準(固定)
PCIスロット1	LANボード標準(固定)	横幅16.7cm以下、奥行6.4cm以下(Low Profile PCIボード専用)



- **工場出荷時に実装されているLANボードとFAXモデムボードを他のPCIボードに付け替えると故障の原因になることがありますので、PCIボードを増設する際には、必ず工場出荷時の状態で空いているスロットに取り付けてください。**
- **FAXモデムボードは、「PCIボードの取り付け」(P.76)の手順で、取り付けることができます。また、「PCIボードの取り付け」の逆の手順で、取り外すことができます。**

PCIボードの取り付け

チェック!! **PCIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCIボードを扱うと、PCIボードを破損させる原因となります。PCIボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。**

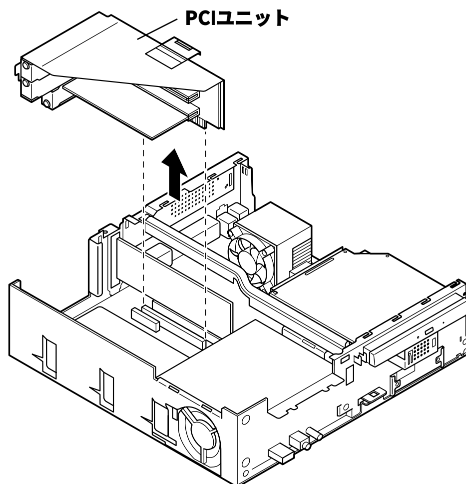
1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.57)

2 PCIユニットをマザーボードから引き抜くようにして取り外す

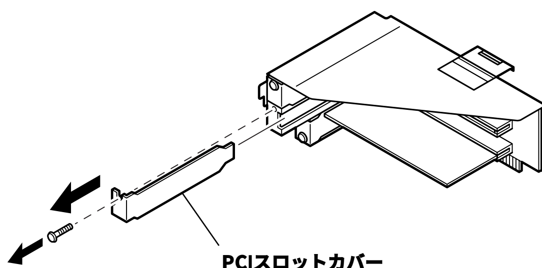
⚠注意



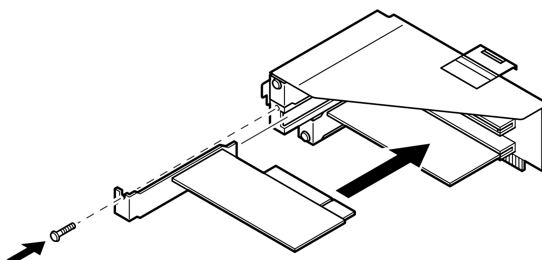
PCIユニットをマザーボードから引き抜くときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



3 PCIスロットのネジを1本外し、PCIスロットカバーを取り外す



4 PCIボードを取り付け、手順3で取り外したネジを取り付ける



5 ツメに注意しながら、PCIユニットをマザーボードに差し込み、取り付ける

⚠注意

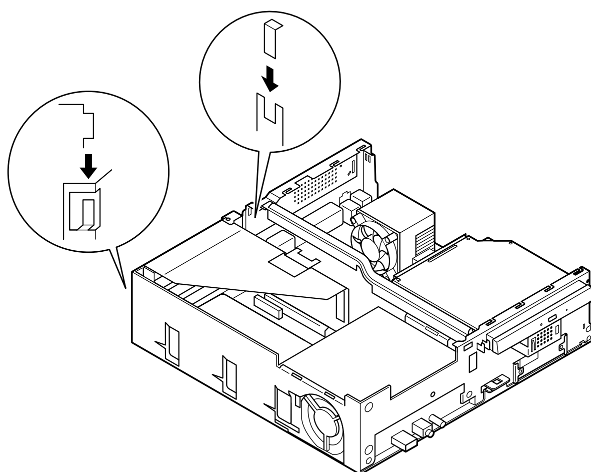


PCIユニットをマザーボードに差し込むときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

⚠注意



PCIユニットをマザーボードに差し込むとき、ケーブル類をはさまないように注意してください。



6 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける(P.60)

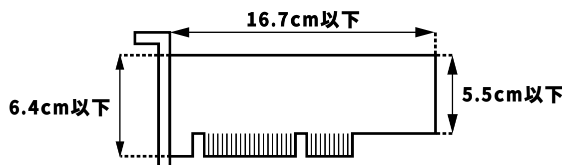
AGPボードの取り付け

GeForce2 MXを選択しないモデルの場合は、AGPボードを取り付けることができます。

チェック!! **AGPボードを取り付けるためには、スロットカバーを折り取らなければなりません。スロットカバーは、一度折り取ると、再び取り付けることができなくなりますので、AGPボードを取り付けた場合は、AGPボードを取り外さないでください。**

取り付け前の確認

AGPボードを取り付ける場合、以下の取り付け条件を参照してください。

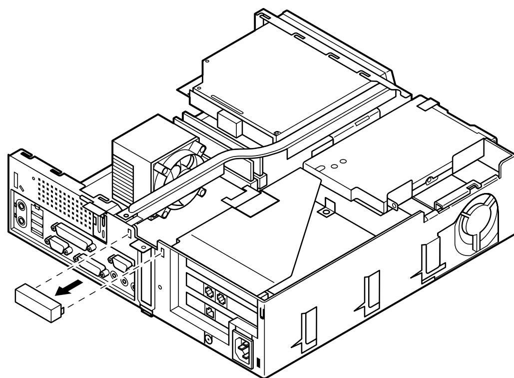


AGPボードの取り付け

チェック!! **AGPボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でAGPボードを扱うと、AGPボードを破損させる原因となります。AGPボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、AGPボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。**

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.57)

2 AGPスロットカバーを両側からはさみ、ツメを外して取り外す

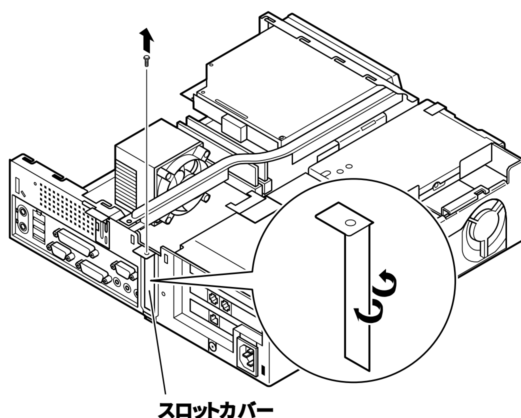


3 ネジを取り外してから、スロットカバーが折り取れるまで、本体の内側と外側に交互に押し込む

⚠注意



AGPボードを取り付ける際、スロットカバーを折り取った跡が尖っている場合がありますので、けがをしないように注意してください。

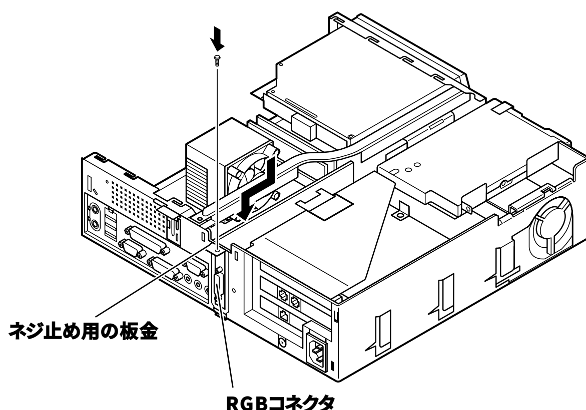


4 **RGBコネクタがネジ止め用の板金に引っ掛からないように、AGPボードをマザーボード側のコネクタに差し込み、手順3で取り外したネジで取り付ける**

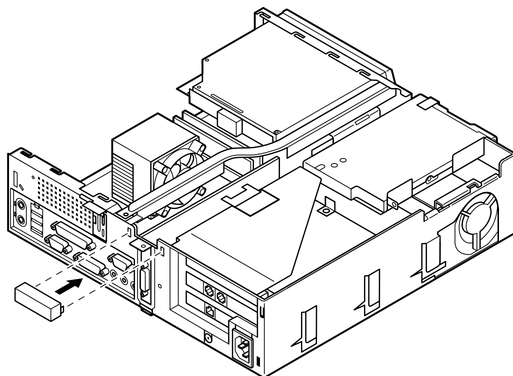
⚠注意



AGPボードをマザーボードに取り付ける際、AGPボードの下を通っているケーブルを挟まないように注意してください。



5 **AGPスロットカバーを取り付ける**



6 **「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける****(P.60)**

ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け

取り外し/取り付け前の確認

本機にファイルベイ用内蔵機器を取り付ける前に、増設用のスロットの数、電源ケーブル、信号ケーブル、ドライブの設定を確認します。

スロットの種類と数

本機には、ファイルベイが以下の通り装備されています。

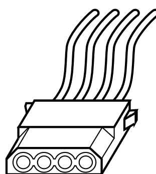
内蔵3.5インチベイ … 2スロット（モデルによって実装されているドライブ数が異なります。）

電源ケーブル

ファイルベイ用の電源ケーブルは、本体に装備されています。

内蔵3.5インチベイ機器用	コネクタ×2本（モデルによって使用済のケーブル数が異なります。）

電源ケーブルコネクタ

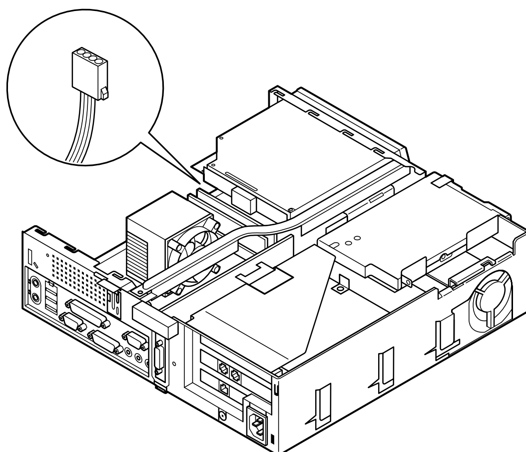


⚠注意





使用しない電源ケーブルは、メモリやCPUに触れないように内蔵3.5インチベイの空いたスペースに押し込んでください。



信号ケーブル

内蔵3.5インチベイ(増設ハードディスクドライブ、プライマリスレーブ)用IDE信号ケーブルが、標準で内蔵されているハードディスクドライブから分岐しています(モデルによって異なります)。

ドライブの設定

工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ、CD-ROM、CD-R/RW、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブの設定は次の通りです。なお、別売の内蔵機器を取り付ける場合は、取り付ける内蔵機器のマニュアルをご覧の上、正しく設定してください。

- **標準ハードディスクドライブ(プライマリマスタ) … MasterまたはSingle(Slaveへの変更は不可)**
- **増設ハードディスクドライブ(プライマリスレーブ) … Slave(Masterへの変更は不可)**
- **CD-ROMドライブ(セカンダリマスタ) ……………… Master(Slaveへの変更は不可)**
- **CD-R/RWドライブ(セカンダリマスタ) …………… Master(Slaveへの変更は不可)**

- CD-R/RW with DVD-ROMドライブ（セカンダリマスタ） … Master（Slaveへの変更は不可）
- フロッピーディスクドライブ … ユニットアドレス=0（0以外への変更は不可）

内蔵3.5インチベイ

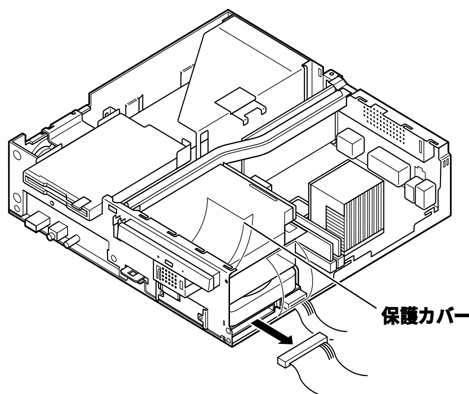
内蔵3.5インチベイには、ハードディスクドライブを取り付けることができます。

ハードディスクドライブの取り付け

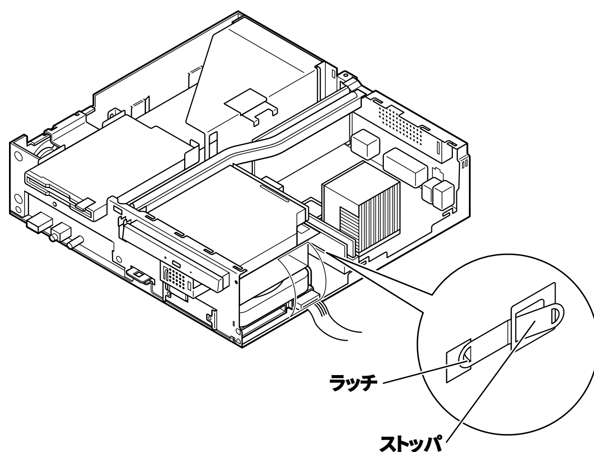
チェック!! ここからは、増設用ハードディスクドライブのマニュアルを一緒に見ながら取り付けてください。

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す（P.57）

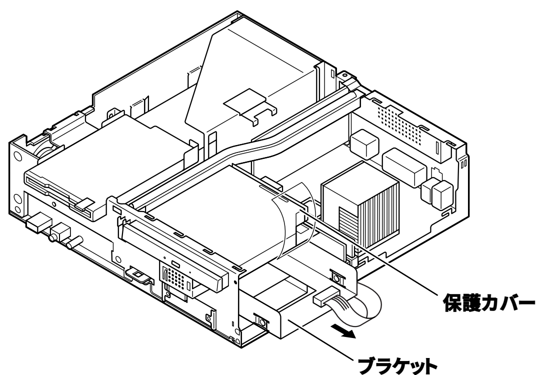
2 保護カバーをめくり上げて、スロット1（下側）に取り付けられているハードディスクドライブから信号ケーブルを取り外す



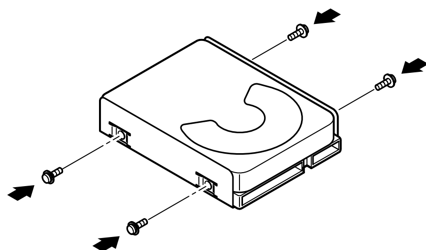
3 内蔵3.5インチベイのストッパを押して、ラッチを外す



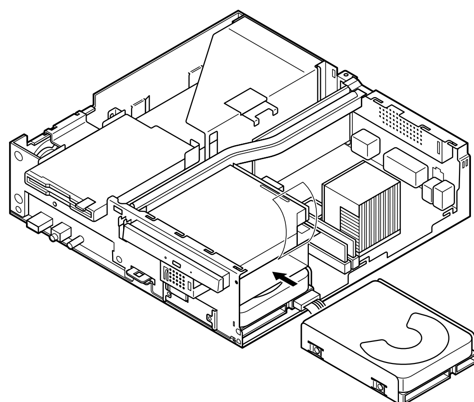
4 保護カバーをめくり上げてから、空きスロットに収納されている電源ケーブルを引き出し、内蔵3.5インチベイのストッパを押して、ラッチを外しながら、ブラケットを手前に引き出して、取り出す



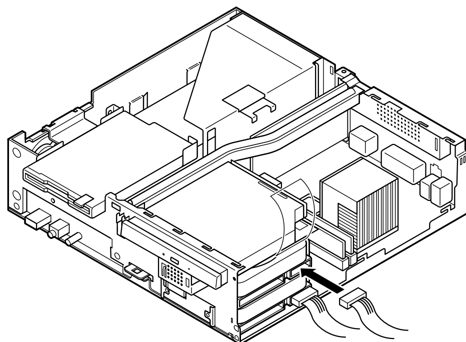
5 ネジ穴にあわせてブラケットと増設用ハードディスクドライブを増設用ハードディスクドライブに添付されているネジで4ヵ所(左右2ヵ所)ネジ止めして取り付ける



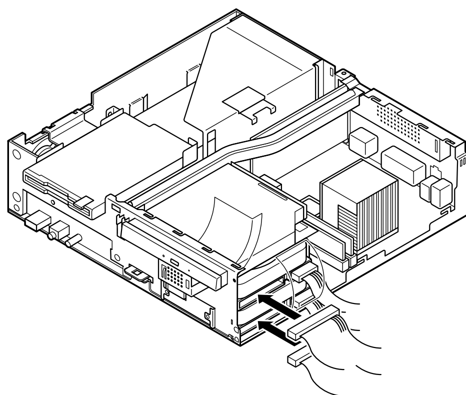
6 保護カバーをめくり上げてから、増設するハードディスクドライブをカチッと音がするまで押し込む



7 **保護カバーをめくり上げてから、スロット2(上側)に取り付けられているハードディスクドライブのコネクタに電源ケーブルを取り付け、保護カバーを元に戻す**



8 **保護カバーをめくり上げてから、「Slave」の表示名札が付いている信号ケーブルのコネクタをスロット2(上側)に取り付けられているハードディスクドライブのコネクタに取り付け、スロット1(下側)に取り付けられているハードディスクドライブに、「Master」の表示名札が付いている信号ケーブルを元のように取り付け、保護カバーを元に戻す**



9 **「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける(P.60)**

増設したハードディスクドライブを確認する

ハードディスクドライブは、フォーマットが必要なものがあります。ハードディスクのフォーマット方法は増設用ハードディスクドライブのマニュアルをご覧ください。
取り付けたハードディスクドライブは、次の方法で確認することができます。

■Windows XPの場合

1 本機の電源を入れ、Windowsを起動させる

2 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

■Windows 2000/NT/Me/98の場合

1 本機の電源を入れ、Windowsを起動させる

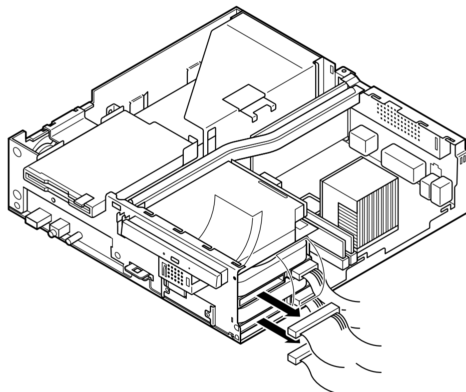
2 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック

取り付けた分だけ、ハードディスクアイコンも増えて表示されています。
また、取り付けたハードディスクドライブが1台でも、フォーマットする際にハードディスクを分割した場合は、その分だけハードディスクアイコンが増えて表示されています。
取り付けたハードディスクドライブに、領域が1つも確保されていない場合は、「マイコンピュータ」のドライブアイコンは増えて表示されません。

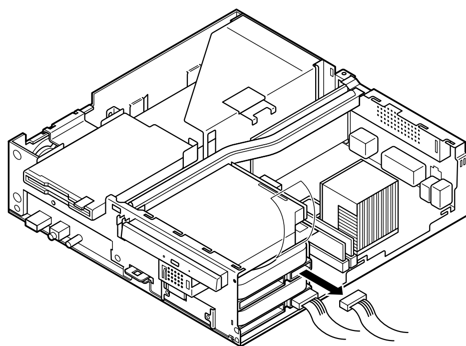
ハードディスクドライブの取り外し

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す（P.57）

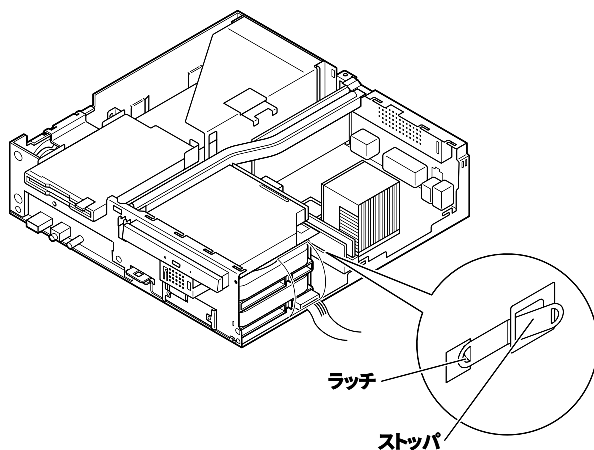
2 **保護カバーをめくり上げて、取り付けてあるすべてのハードディスクドライブから、信号ケーブルを取り外す**



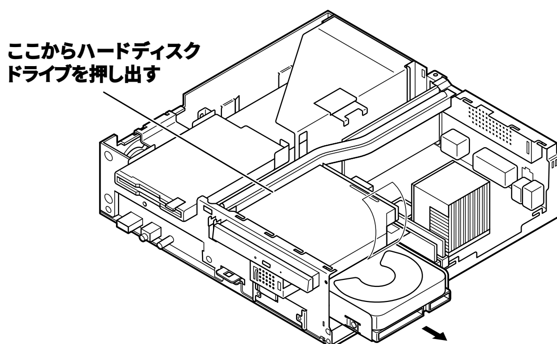
3 **保護カバーをめくり上げてから、取り外そうとしているハードディスクドライブの電源ケーブルを取り外す**



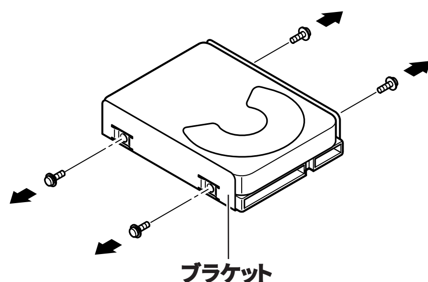
4 内蔵3.5インチベイのストッパを押して、ラッチを外す



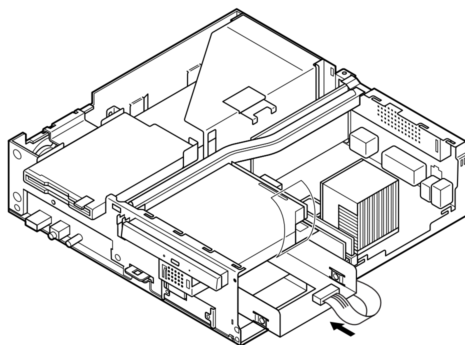
5 内蔵3.5インチベイのストッパを押して、ラッチを外しながら、CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブの間から指などを入れて、ハードディスクドライブを押し出し、取り外す



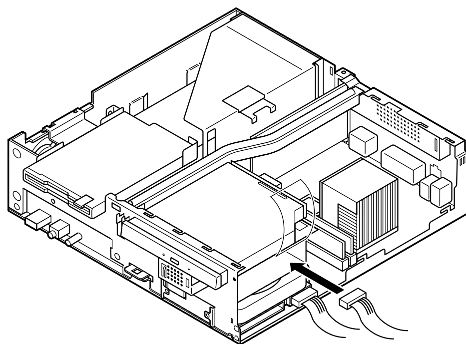
6 ネジ4ヵ所(左右2ヵ所)を外して、ハードディスクドライブをブラケットから取り外す



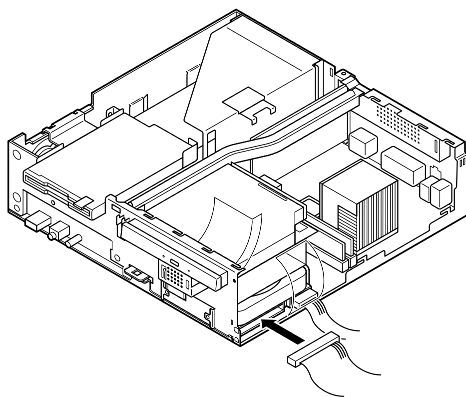
7 保護カバーをめくり上げてから、ブラケットをカチッと音がするまで押し込む



8 保護カバーをめくり上げてから、手順3で取り外した電源ケーブルを内蔵3.5インチベイの空いているスロットに押し込む



9 保護カバーをめくり上げてから、スロット1(下側)に取り付けられているハードディスクドライブに、「Master」の表示名札が付いている信号ケーブルを元のように取り付け、保護カバーを元に戻す



10 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける(P.60)

PART

4

周辺機器を利用する（ミニタワー型）

ここでは、ミニタワー型に取り付けられる周辺機器や内蔵機器の取り付け方法について説明します。

この章の読み方

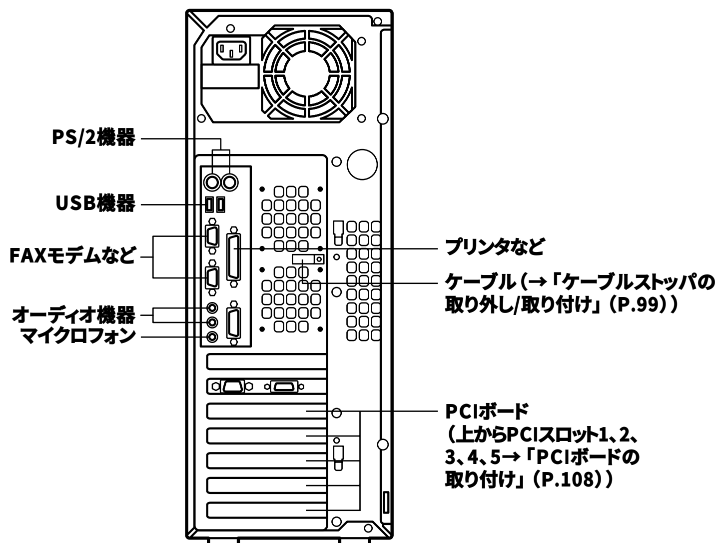
次ページの「接続できる周辺機器」を読んだ後に、目的にあわせて次に該当するページを読んでください。

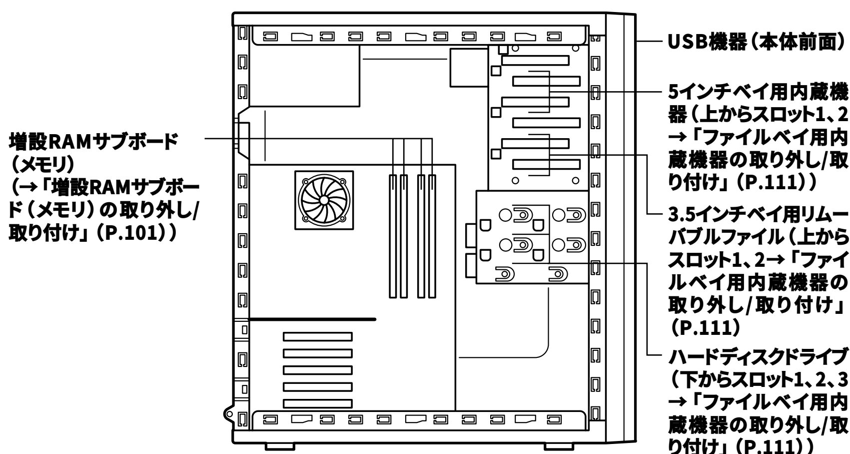
この章の内容

接続できる周辺機器

ミニタワー型には、次のような別売の周辺機器を取り付けられます。

チェック!! **MIDI/Joystickコネクタは利用できません。**





本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を取り付けるときなどに必要なカバー類の取り外し方について説明します。

レフトカバーの取り外し

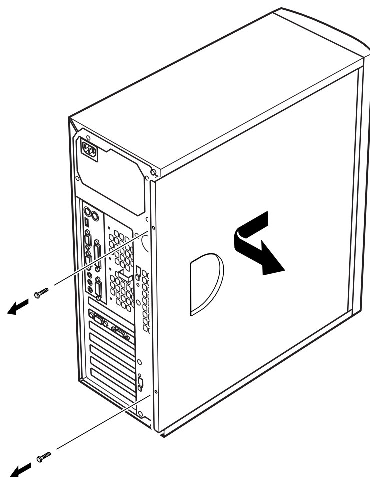
メモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を取り付ける場合は、本体のレフトカバーを取り外す必要があります。

1 本機の電源を切る

2 盗難防止用の錠を使用している場合は、取り外す

3 本体に接続されているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外す

4 背面のネジ2本を取り外し、レフトカバーを手前に引いてから、外側に開くようにして取り外す

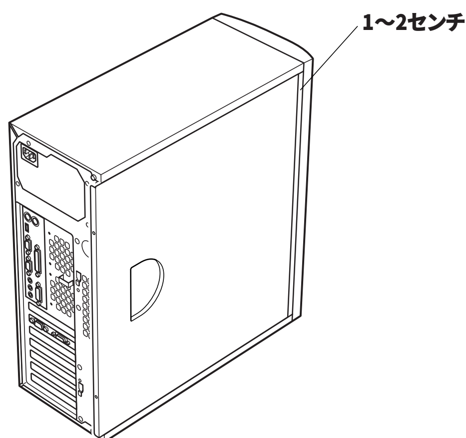


チェック!! 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

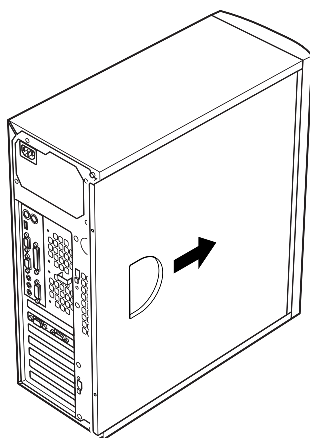
レフトカバーの取り付け

レフトカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けやすくなっています。

1 **レフトカバーをフロントマスクから1〜2センチ間を空けて、本体の上下に合わせる**



2 **レフトカバーを本体に押し当て、前方にスライドさせる**



3 「レフトカバーの取り外し」で取り外したネジ2本でレフトカバーを取り付ける（P.95）

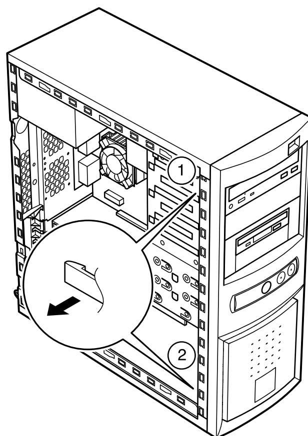
4 盗難防止用の錠を使用している場合は取り付ける

5 ケーブル（電源ケーブル、アース線など）を本体のコネクタに取り付ける

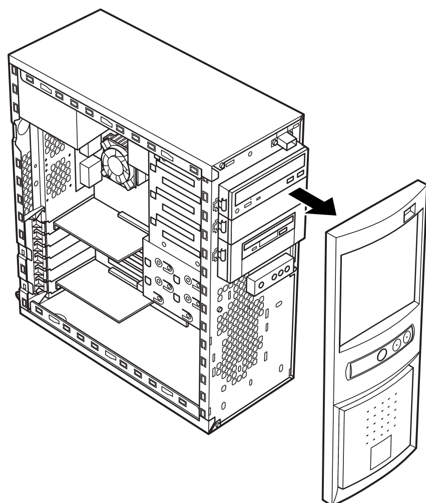
フロントマスクの取り外し

ハードディスクドライブ、CD-ROMドライブやCD-R/RWドライブなど、5インチベイに内蔵機器を取り付ける場合は、レフトカバーとフロントマスクを取り外す必要があります。

1 フロントマスク左側のツメ①、ツメ②を下の図のように押して、本体から外す

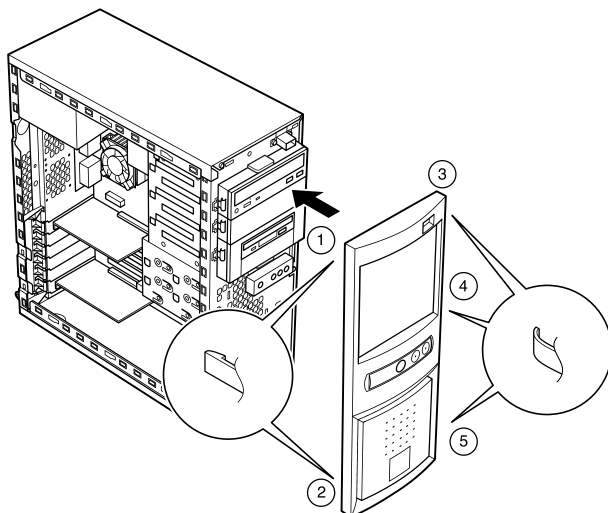


2 フロントマスクを前方に引いて取り外す



フロントマスクの取り付け

1 フロントマスク右側のツメ⑤、ツメ④、ツメ③の順に本体側の穴にあわせてから、フロントマスク左側のツメ②、ツメ①の順に、本体側の穴にあわせるように押し込む



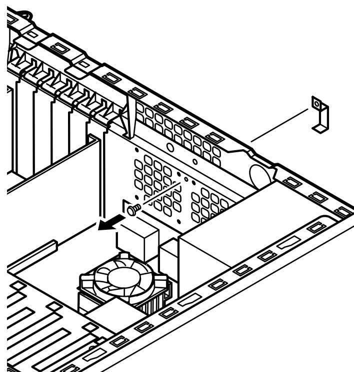
ケーブルストッパの取り外し/取り付け

キーボードやマウスの盗難防止とともに、ケーブル抜け防止のために、ケーブルストッパでケーブルを本体に固定します。

ケーブルとケーブルストッパの取り付け

1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.95)

2 本体内側からネジを外して、本体に取り付けてあるケーブルストッパを取り外す



チェック!! 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

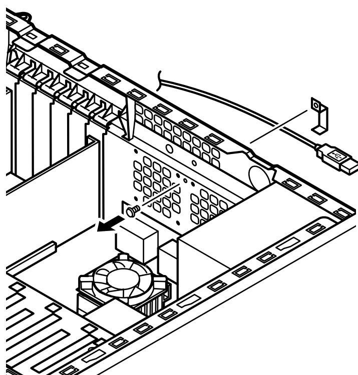
3 キーボード、PS/2接続マウスケーブルの上からケーブルストッパを被せ、取り外したときと逆の手順で、本体内側からケーブルごとケーブルストッパをネジ止めして取り付ける

4 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.96)

ケーブルとケーブルストッパの取り外し

1 **「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す（P.95）**

2 **本体内側からネジを外して、ケーブルストッパとケーブルを本体から取り外す**



3 **取り外したネジで元通りにケーブルストッパを本体にネジ止めする**

4 **「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける（P.96）**

増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、別売の増設RAMサブボードを取り付けることで、メモリを増やすことができます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAMサブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。

チェック!! Windows Meを使用する場合、増設可能な最大メモリ容量は512MBです。

取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、増設RAMサブボードを2枚単位で、最大4枚まで取り付けられます。
取り付け可能な増設RAMサブボードについては、NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」で紹介しています。
　http://121ware.com/
「レスキュー」→「商品の適合検索」をご覧ください。

スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。スロット0から順番に取り付けることになります。また、必ず同じ容量の増設RAMサブボード2枚1組で取り付けてください。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット0	スロット1	スロット2	スロット3
128MB	64MB	64MB	※	※
256MB	128MB	128MB	※	※
	64MB	64MB	64MB	64MB
384MB	128MB	128MB	64MB	64MB
512MB	256MB	256MB	※	※
	128MB	128MB	128MB	128MB
640MB	256MB	256MB	64MB	64MB
768MB	256MB	256MB	128MB	128MB
1GB (1024MB)	256MB	256MB	256MB	256MB

同容量で2枚1組（スロット0・1）　同容量で2枚1組（スロット2・3）

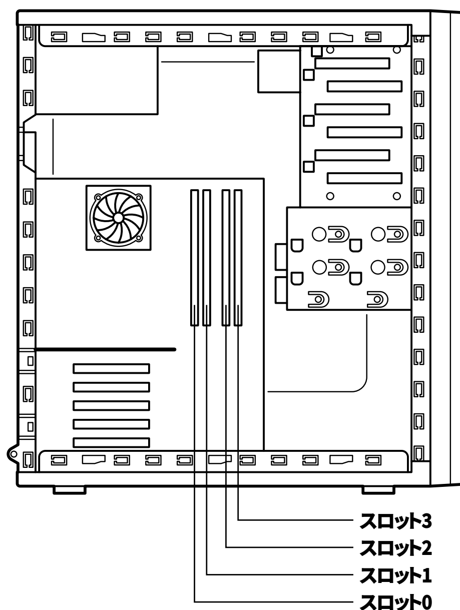
※ Continuityボード（結線の役割をするダミーの増設RAMサブボード）実装



チェック!!

- 増設RAMサブボードの取り付け/取り外しの際、空きスロットができてしまう場合は、必ずContinuityボードを取り付けてください。Continuityボードが空きスロットに取り付けられていない場合、本機は起動しません。
  128MB、256MBまたは、512MBのモデルを購入された場合、Continuityボードは、スロット2とスロット3に取り付けられています。
- 取り外したContinuityボードは、紛失しないように手近な箱や袋などに保管してください。

スロットの位置



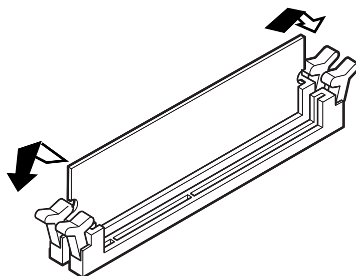
増設RAMサブボードの取り外し

チェック!! **増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。**

1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.95)

2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く

3 増設RAMサブボードの左右のレバーを外側に広げる



4 増設RAMサブボードを上へ引き抜くようにして取り外す

取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて保管してください。

5 静かに本体を縦置きに戻す

6 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.96)

増設RAMサブボードの取り付け

チェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.95)

2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く

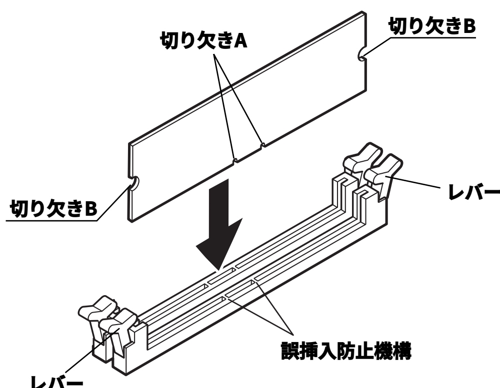
3 左右のレバーが外側に開いていない場合は、外側に広げてから、増設RAMサブボードを、切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込み、取り付ける

スロット0、1の順番で取り付けてください。

4

周辺機器を利用する(ミニタワー型)

チェック!! 増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。

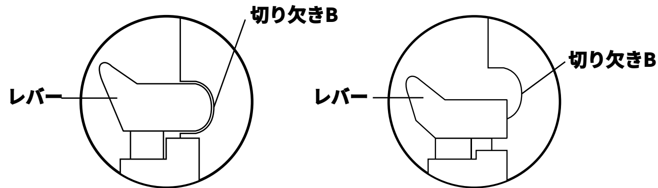


4 左右2ヵ所のレバーが切り欠きBに掛かるように、増設RAMサブボードをしっかり押し込む

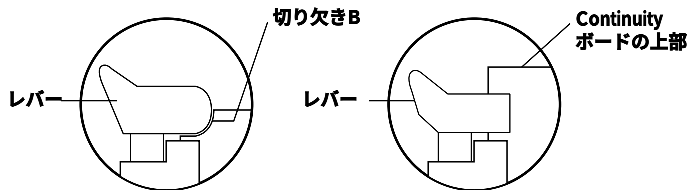
チェック!!

- 増設RAMサブボードがしっかり押し込まれたことを確認してください。しっかり押し込まれていないと故障の原因となります。
- Continuityボードには、切り欠きBがないタイプがあります。切り欠きBがない場合は、左右2ヵ所のレバーがContinuityボードの上部に掛かるように、しっかり押し込んでください。

■増設RAMサブボード(メモリ)の場合



■Continuityボードの場合



5 静かに本体を縦置きに戻す

6 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.96)

メモリ容量の確認方法

■Windows XPの場合

1 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

2 「システムタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。

■Windows 2000/Meの場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「システム」をダブルクリック

「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。


チェック!!

- 『活用ガイド　ハードウェア編』「PART2　システム設定(スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型の場合)」「Mainの設定」の「Extended Memory」でも、確認することができます。メモリの容量を確認すると、搭載されている容量より数MB少ない容量が表示されることがあります。これはメインメモリがシステムに割り当てられるためで、故障ではありません。
- 電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまでの時間は、メモリの容量によって変わってきます。これは、メモリの初期化のためです。256MB4枚増設した場合、約9秒かかります。

メモ

表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してください。

ＰＣＩボードの取り付け

PCIスロットには、本機の機能を拡張させるための各種PCIボードを取り付けることができます。

取り付け前の確認

下記条件件がありますので、確認してください。

ＰＣＩスロット１	ハーフサイズ（横幅約１７.６ｃｍ）まで取り付け可能。 ＲＡＩＤモデルの場合スロット１にIＤＥ ＲＡＩＤボード内蔵。
ＰＣＩスロット２	
ＰＣＩスロット３	フルサイズ（横幅約３３ｃｍ）まで取り付け可能。
ＰＣＩスロット４	
ＰＣＩスロット５	ＬＡＮボード標準（固定）



- **工場出荷時に実装されているIDE RAIDボードを他のPCIスロットに付け替えると故障の原因になることがありますので、PCIボードを増設する際には、必ず工場出荷時の状態で空いているスロットに取り付けてください。**
- **RAIDモデルの場合、拡張ROMを搭載した拡張PCIボード（SCSIなど）は、ご利用いただけません。**

PCIボードの取り付け



PCIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCIボードを扱うと、PCIボードを破損させる原因となります。PCIボードに触れる前に、身近な金属（アルミサッシやドアのノブなど）に触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

⚠注意

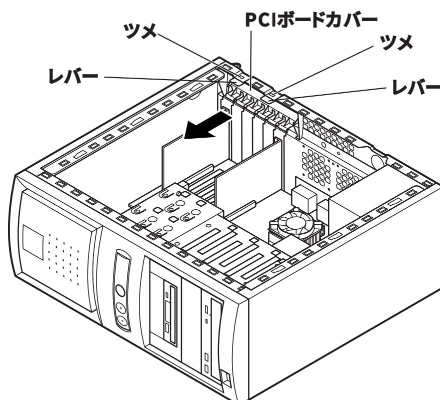


PCIスロットの板金の縁は鋭利になっていますので、PCIスロットカバーを取り外したり、PCIボードを取り付ける場合、指などを切らないように注意してください。

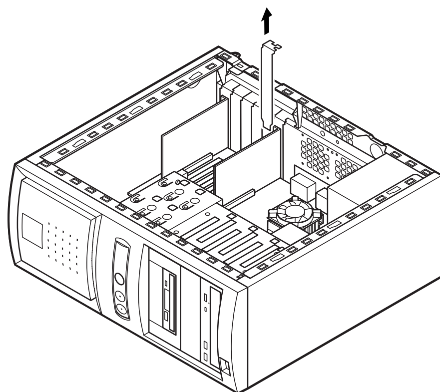
1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す（P.95）

2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く

3 PCIボードカバーのレバー2ヵ所を下に押し下げて、PCIボードカバーのツメ2ヵ所を外して、PCIボードカバーを取り外す

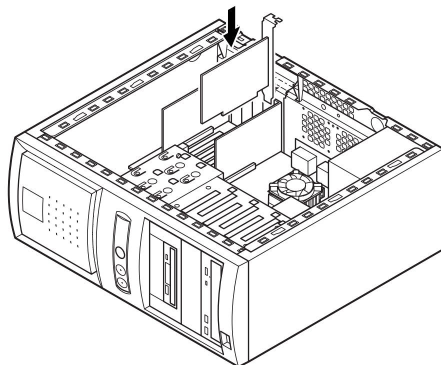


4 PCIスロットカバーを引き抜く

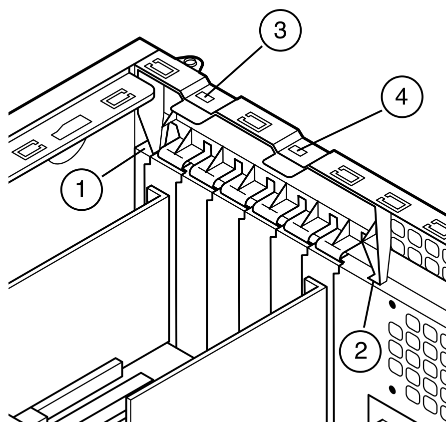


4
周辺機器を利用する（ミニタワー型）

5 **マザーボード上のコネクタに対し垂直になるようにPCIボードを差し込み、取り付ける**



6 **下の図の①〜④の順番で、PCIボードカバーのツメを本体の穴に掛けるようにして、PCIボードカバーを本体に取り付ける**



7 **静かに本体を縦置きに戻す**

8 **「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける（P.96）**

ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け

取り外し/取り付け前の確認

本機にファイルベイ用内蔵機器を取り付ける前に、増設用のスロットの種類と数、電源ケーブル、信号ケーブル、ドライブの設定を確認します。

スロットの種類と数

本機には、ファイルベイが以下の通り装備されています。

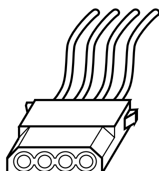
内蔵3.5インチベイ … 3スロット（モデルによって実装されているドライブ数が異なります。）
3.5インチベイ ……… 2スロット（スロット1にフロッピーディスクドライブ実装済。）
5インチベイ ………… 2スロット（モデルによって実装されているドライブ数が異なります。）

電源ケーブル

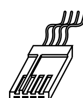
ファイルベイ用の電源ケーブルは2種類あり、本体に装備されています。

5インチベイ機器用	コネクタ（大）×2本（CD-ROMドライブまたは、CD-R/RWドライブで1本使用済。）
予備	コネクタ（大）×1本
内蔵3.5インチベイ機器用	コネクタ（大）×3本（モデルによって使用済のケーブル数が異なります。）
3.5インチベイ機器用	コネクタ（小）×2本（フロッピーディスクドライブで1本使用。）

電源ケーブルコネクタ（大）



電源ケーブルコネクタ（小）

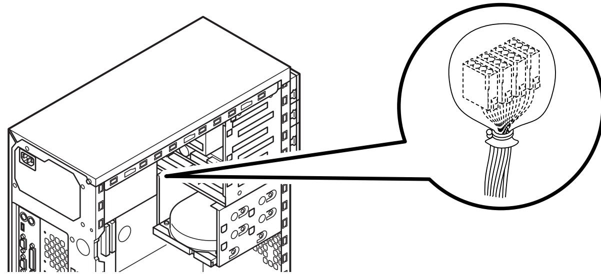


⚠注意





使用されていない電源ケーブルは、誤接触や帯電を防止するためのポリ袋で束ねられています。ファイルベイ用内蔵機器を取り付ける際には、必要な電源ケーブルを取り出し、使用しない電源ケーブルはポリ袋で束ねておいてください。



信号ケーブル

- 内蔵3.5インチベイ(増設ハードディスクドライブ、プライマリスレーブ)用IDE信号ケーブルが標準で内蔵されたハードディスクドライブから分岐しています(モデルによって異なります)。
- 3.5インチベイまたは、5インチベイ(セカンダリスレーブ)用IDE信号ケーブルが、CD-ROM、CD-R/RWドライブから分岐しています。

ドライブの設定

工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ、CD-ROM、CD-R/RWドライブ、フロッピーディスクドライブの設定は次の通りです。なお、別売の内蔵機器を取り付ける場合は、取り付ける内蔵機器のマニュアルをご覧の上、正しく設定してください。

- 標準ハードディスクドライブ(プライマリマスタ) … MasterまたはSingle(Slaveへの変更は不可)
- 増設ハードディスクドライブ(プライマリスレーブ) … Slave(Masterへの変更は不可)
- CD-ROMドライブ(セカンダリマスタ) ……………… Master(Slaveへの変更は不可)
- CD-R/RWドライブ(セカンダリマスタ) …………… Master(Slaveへの変更は不可)
- フロッピーディスクドライブ … ユニットアドレス=0(0以外への変更は不可)

内蔵3.5インチベイ

内蔵3.5インチベイには、ハードディスクドライブを取り付けることができます(3台まで実装可能)。

ハードディスクドライブの取り付け



ここからは、増設用ハードディスクドライブのマニュアルを一緒に見ながら取り付けてください。

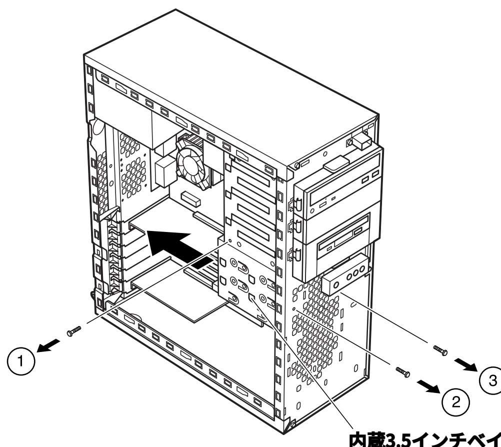
1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.95)

2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す(P.97)

3 内蔵されているハードディスクドライブの電源ケーブル、信号ケーブルを取り外す

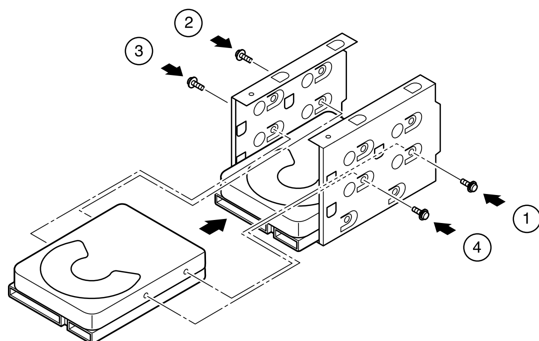
4 ①、②、③の順で、ネジ3本を外し、内蔵3.5インチベイユニットを矢印方向に引いて、本体から取り外す

> **⚠注意**
>
> **内蔵3.5インチベイユニットを取り付けるときは、内蔵3.5インチベイユニットを落下させないように注意してください。**



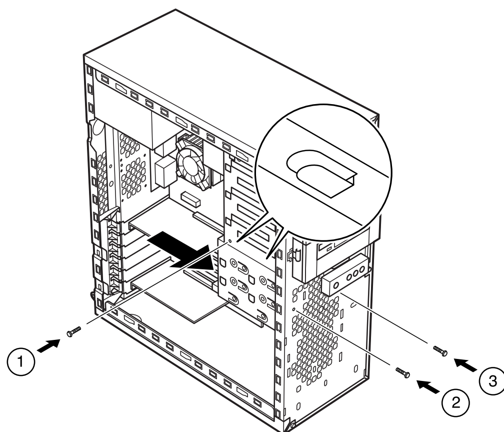
チェック!! 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

5 **内蔵されているハードディスクドライブの上のスロットに、増設用ハードディスクドライブを増設用ハードディスクドライブに添付されているネジ4本で①、②、③、④の順にネジ止めして取り付ける**



チェック!! ハードディスクドライブを取り付けるときは、ハードディスクドライブを落下させないように注意してください。

6 **内蔵3.5インチベイユニットの上部にある溝4ヵ所を本体のツメ4ヵ所にあわせて、内蔵3.5インチベイユニットを手で押さえながら、矢印方向に押し込み、手順4で外したネジ3本で③、②、①の順に取り付ける**

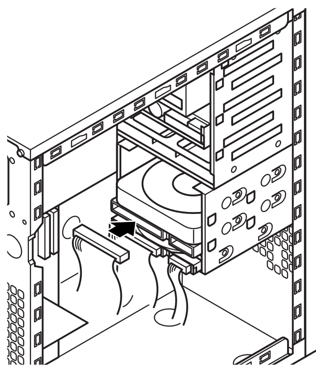


⚠注意

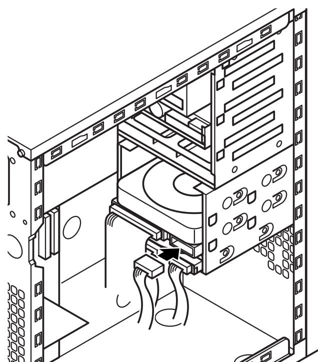
内蔵3.5インチベイユニットを取り付けるときは、内蔵3.5インチベイユニットを落下させないように注意してください。

7 取り外したときと逆の手順で、信号ケーブル、電源ケーブルを元々内蔵されているハードディスクドライブに取り付ける

8 IDEインタフェースのハードディスクドライブを取り付ける場合は、標準で内蔵されているハードディスクドライブに取り付けられている信号ケーブルから分岐している信号ケーブルのコネクタを増設用ハードディスクドライブのコネクタに取り付ける
SCSIインタフェース機器を取り付ける場合は、増設用ハードディスクドライブおよびSCSIケーブルのマニュアルに従い信号ケーブルを取り付ける



9 電源ケーブル（電源ケーブルコネクタ（大））をポリ袋から取り出し、増設用ハードディスクドライブのコネクタに取り付ける



⚠注意



使用しない電源ケーブルは、ポリ袋で束ねておいてください。

10 「フロントマスクの取り付け」の手順で、フロントマスクを取り付ける（P.98）

11 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける（P.96）

増設したハードディスクドライブを確認する

ハードディスクドライブは、フォーマットが必要なものがあります。ハードディスクのフォーマット方法は増設用ハードディスクドライブのマニュアルをご覧ください。
取り付けたハードディスクドライブは、次の方法で確認することができます。

■Windows XPの場合

1 本機の電源を入れ、Windowsを起動させる

2 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

■Windows 2000/Meの場合

1 本機の電源を入れ、Windowsを起動させる

2 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック

取り付けた分だけ、ハードディスクアイコンも増えて表示されています。また、取り付けたハードディスクドライブが1台でも、フォーマットする際にハードディスクを分割した場合は、その分だけハードディスクアイコンが増えて表示されています。
取り付けたハードディスクドライブに、領域が1つも確保されていない場合は、「マイコンピュータ」のドライブアイコンは増えて表示されません。

増設ハードディスクドライブの取り外し

「ハードディスクドライブの取り付け」(P.113)の逆の手順で取り外してください。

3.5インチベイ

3.5インチベイのスロット2には、3.5インチベイ用リムーバブルファイル(Zipドライブなど)を取り付けることができます。

3.5インチベイ用リムーバブルファイルの取り付け


チェック!!

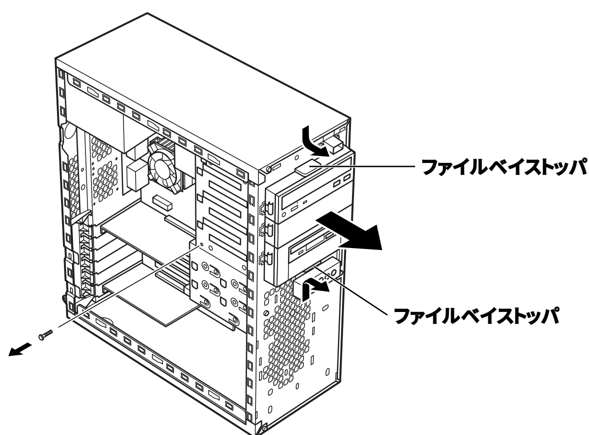
ここからは、取り付ける3.5インチベイ用リムーバブルファイル(Zipドライブなど)のマニュアルを一緒に見ながら取り付けてください。

1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.95)

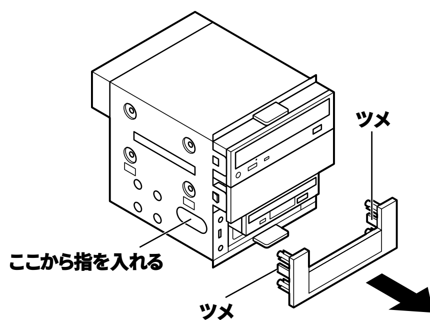
2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す(P.97)

3 フロッピーディスク、5インチベイに取り付けられているすべての信号ケーブル、電源ケーブルを取り外す

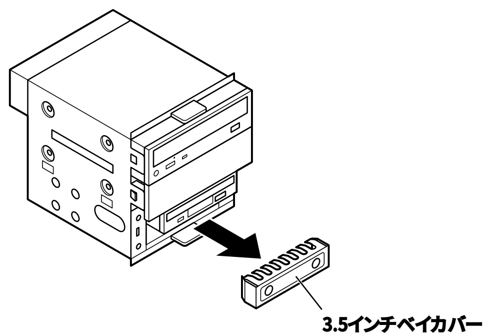
4 ネジ1本を取り外してから、上下のファイルベイストッパを押しながら、ファイルベイユニットを手前に引き出す



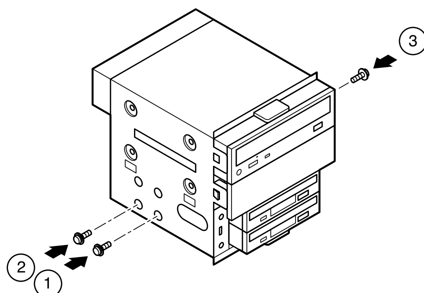
5 ツメ2ヵ所を外して、3.5インチベイのフロントマスクを取り外す



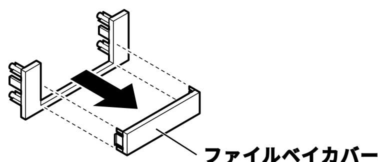
6 3.5インチベイカバーの穴に指を入れて手前に引き出す



7 **3.5インチベイ用リムーバブルファイル(Zipドライブなど)をファイルベイユニットの3.5インチベイスロット2に入れて、側面から3.5インチベイ用リムーバブルファイルに添付のネジ3本で①、②、③の順で取り付ける**

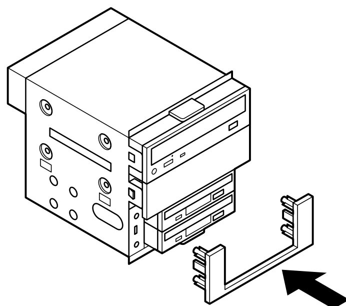


8 **3.5インチベイのフロントマスクからツメ2ヵ所を外して、ファイルベイカバーを取り外す**



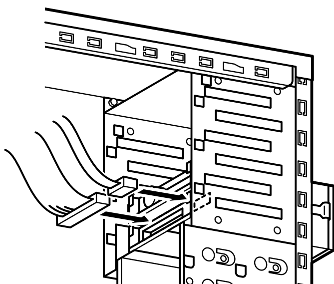
チェック!! **取り外したファイルベイカバーは、紛失しないように手近な箱や袋などに保管してください。**

9 **足4本とツメ2ヵ所をファイルベイユニットの穴にあわせて、3.5インチベイのフロントマスクを取り付ける**



10 カチッと音がするまで、ファイルベイユニットをスロットに押し込み、手順4で取り外したネジを取り付ける

11 取り付ける3.5インチベイ用リムーバブルファイル(Zipドライブなど)のマニュアルに従い、信号ケーブル、電源ケーブルを取り付ける

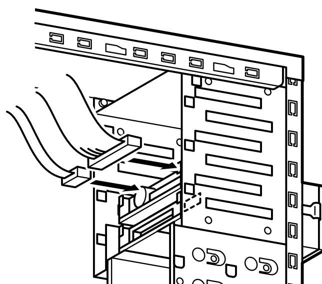


⚠注意



使用しない電源ケーブルは、ポリ袋で束ねておいてください。

12 フロッピーディスクドライブ、5インチベイに元々取り付けられていた電源ケーブル、信号ケーブルを取り付ける



⚠注意



フロッピーディスクドライブの信号ケーブルのコネクタには向きがあります。ずれたり、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因となりますので注意してください。

13 「フロントマスクの取り付け」の手順でフロントマスクを取り付ける（P.98）

14 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける（P.96）

3.5インチベイ用リムーバブルファイルの取り外し

「3.5インチベイ用リムーバブルファイルの取り付け」（P.117）の逆の手順で取り外してください。

5インチベイ

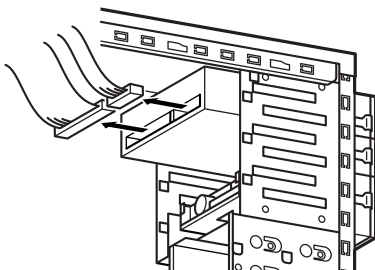
本機には5インチベイが2スロット用意されています。このベイにはCD-ROMドライブなどの内蔵機器を取り付けることができます。5インチベイに標準で内蔵されている5インチベイ用内蔵機器（CD-ROM、CD-R/RW）を取り外して、他のファイルベイ用内蔵機器などに交換することもできます。

5インチベイ用内蔵機器の取り外し

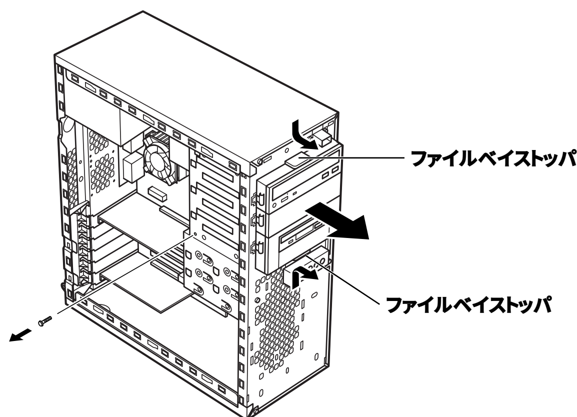
1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す（P.95）

2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す（P.97）

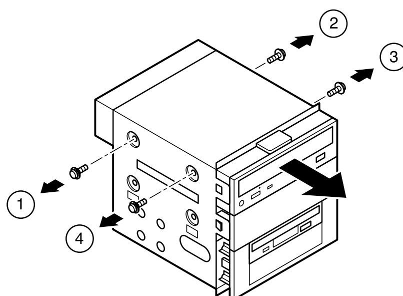
3 3.5インチベイ、5インチベイに取り付けられているすべての電源ケーブル、信号ケーブルを取り外す
工場出荷時に取り付けられているCD-ROM、CD-R/RWドライブなどは、オーディオケーブルを取り外す



4 ネジを1本取り外してから、上下のファイルベイストッパを押しながら、ファイルベイユニットを手前に引き出す



5 ネジ4本（左右2ヵ所）を①、②、③、④の順で取り外してから、5インチベイ用内蔵機器を前方に引き抜くようにして取り外す

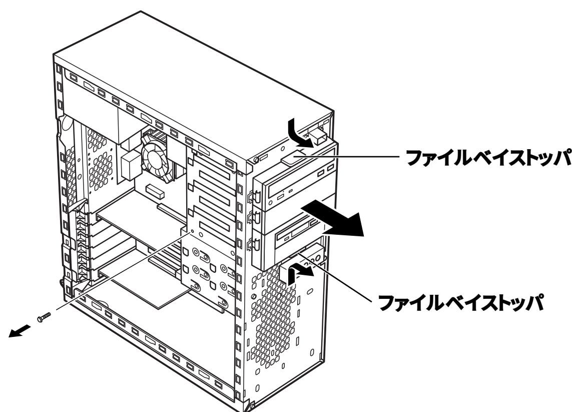


5インチベイ用内蔵機器の取り付け

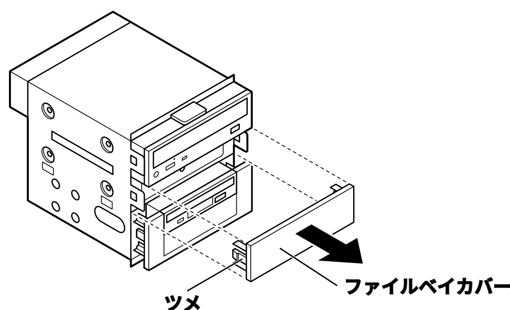
1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す（P.95）

2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す（P.97）

3 **3.5インチベイ、5インチベイに取り付けられているすべての電源ケーブル、信号ケーブルを取り外してから、ネジを1本取り外して、上下のファイルベイストッパを押しながら、ファイルベイユニットを手前に引き出す**

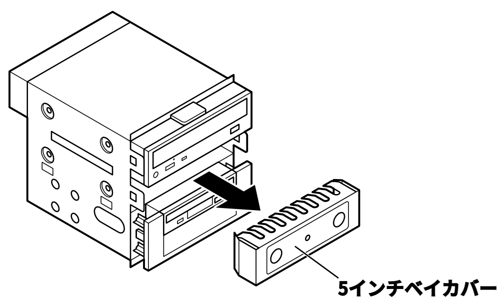


4 **はじめてスロット2に5インチベイ用内蔵機器を取り付ける場合は、ファイルベイカバーの左右のツメを押して、ファイルベイカバーを手前に引いて取り外す**



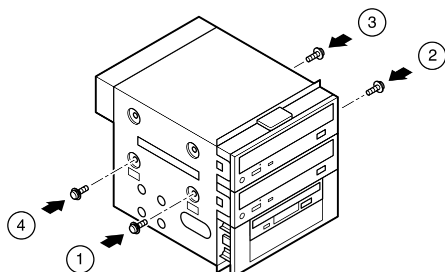

チェック!! **取り外したファイルベイカバーは、紛失しないように手近な箱や袋などに保管してください。**

5　5インチベイカバーの穴に指を入れて手前に引き出す



6　5インチベイ用内蔵機器をファイルベイユニットに押し込む

7　ネジ4本(左右2ヵ所)を①、②、③、④の順で取り付ける



8　ファイルベイユニットをスロットに押し込み、手順3で取り外したネジを取り付ける

9 次の手順でファイルベイ用内蔵機器にケーブルを取り付ける

ファイルベイのスロット2に機器を取り付ける場合、先にスロット2の機器のケーブルを取り付けます。

①3.5インチベイ内蔵機器への取り付け

- スロット2の機器(スロット2に機器が取り付けられている場合)のマニュアルに従って信号ケーブル、電源ケーブルを取り付けてから、フロッピーディスクドライブの電源ケーブル、信号ケーブルを取り付ける

②5インチベイ内蔵機器への取り付け

- 取り付ける機器がIDEインタフェース以外の場合、取り付ける機器およびケーブルのマニュアルに従って、信号ケーブル、電源ケーブルを取り付ける
- スロット2にIDEインタフェースの機器を取り付ける場合は、標準で内蔵されているCD-ROM、CD-R/RWドライブの信号ケーブルから分岐している信号ケーブルを取り付け、本機に装備されている電源ケーブルをポリ袋から取り出し、取り付ける
- スロット1にIDEインタフェースの機器を取り付ける場合は、標準で内蔵されていたCD-ROM、CD-R/RWドライブの信号ケーブル、電源ケーブルを取り付ける
- 標準で内蔵されていたCD-ROM、CD-R/RWドライブを取り付ける場合は、オーディオケーブルを取り付ける

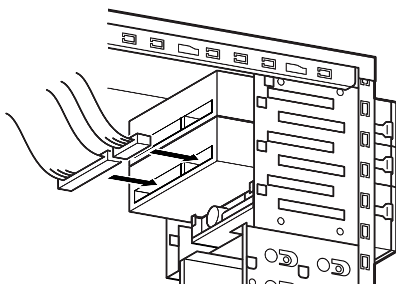


接続方法は、5インチベイ用内蔵機器、3.5インチベイ用内蔵機器のマニュアルをご覧ください。

⚠注意



使用しない電源ケーブルは、ポリ袋で束ねておいてください。



10 「フロントマスクの取り付け」の手順で、フロントマスクを取り付ける（P.98）

11 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける（P.96）

フロッピーディスク、CD-ROMなどを使いやすくする（横置きに適した向きの変更）

本体を横置きにしてご利用になる場合、ファイルベイ用内蔵機器の向きを替えることで、フロッピーディスク、CD-ROMなどを利用しやすくすることができます。

1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す（P.95）

2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す（P.97）

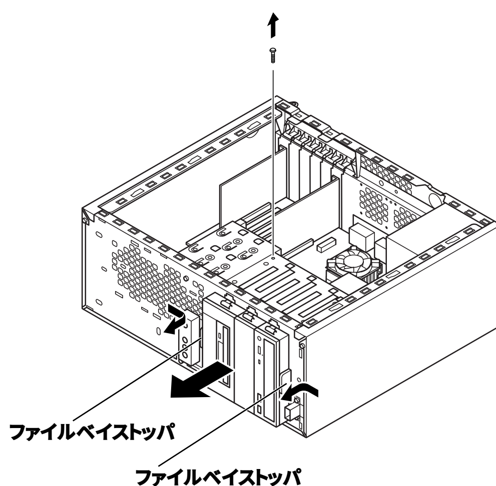
3 本体を左側面が上になるようにゆっくり横に置く

4 3.5インチベイ、5インチベイに取り付けれられている信号ケーブルのマザーボード側のコネクタを取り外す

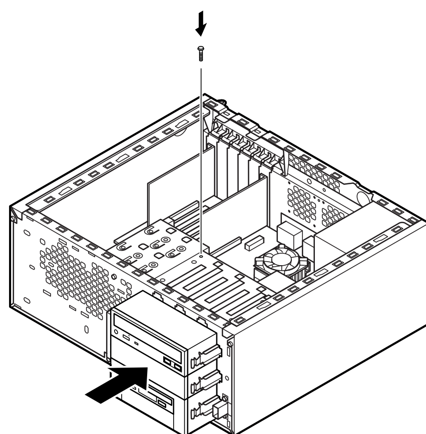
5 5インチベイに取り付けられている電源ケーブル、オーディオケーブル（使用している場合）を取り外す

6 ネジ1本を取り外してから、左右のファイルベイストッパを押しながら、ファイルベイユニットを手前に引き出す

> ⚠注意
>
> 
>
>
> ファイルベイユニットを手前に引き出す時に、強く引っ張ると、3.5インチベイ用内蔵機器に接続されている電源ケーブルを傷めることになりますので、ファイルベイユニットは静かに引き出してください。
> ファイルベイユニットが引き出しにくい場合は、電源ケーブルを束ねているポリ袋を外してから、ファイルベイユニットを引き出してください。
> 作業後は、使用しない電源ケーブルをポリ袋で束ねておいてください。

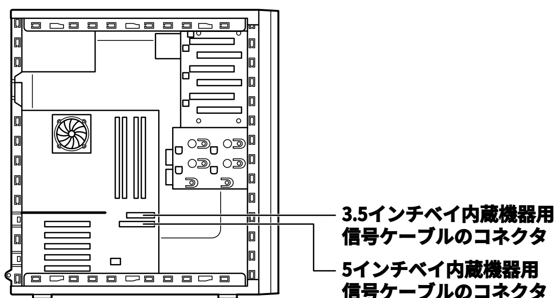


7 ファイルベイユニットを左に90°回転させてから、カチッと音がするまで、ファイルベイユニットをスロットに押し込み、手順6で取り外したネジを取り付ける



8 スロット2、1の順で、5インチベイ用内蔵機器にオーディオケーブル(使用している場合)、電源ケーブルを取り付ける

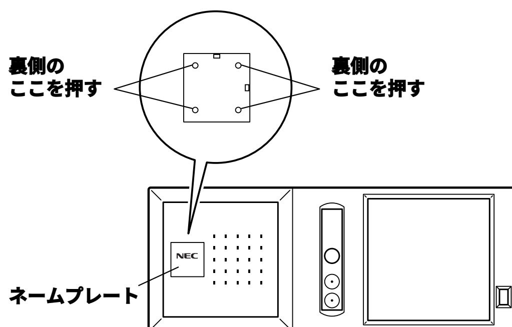
9　3.5インチベイ、5インチベイに取り付けられている信号ケーブルのマザーボード側のコネクタをマザーボードに取り付ける



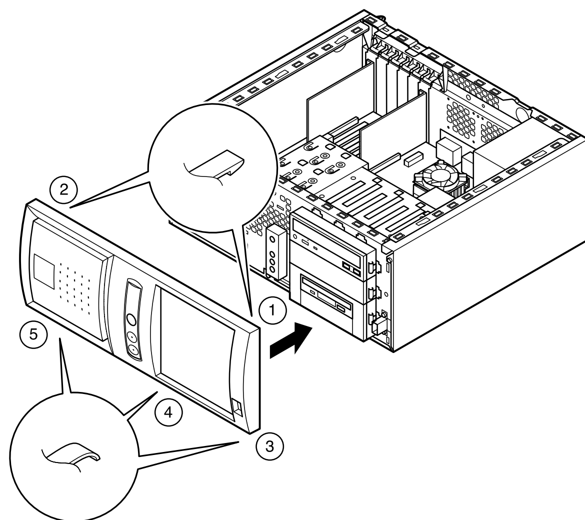
チェック!! ファイルベイ用内蔵機器の向きを替えて使用する場合、5インチベイのスロット2に取り付ける5インチベイ用内蔵機器用の信号ケーブルが短いため、スロット2に5インチベイ用のZipドライブなどを取り付けていると、ケーブル長を取られてしまうので、信号ケーブルをマザーボードに取り付けられません。信号ケーブルをマザーボードに取り付けられない場合は、以下の方法で取り付けてください。

① スロット1に取り付けられている5インチベイ用内蔵機器から信号ケーブルを取り外す
② スロット2に取り付けられている5インチベイ用内蔵機器から信号ケーブルを取り外す
③ ①で取り外した信号ケーブルを、スロット2に取り付けられている5インチベイ用内蔵機器に取り付ける
④ ②で取り外した信号ケーブルを、スロット1に取り付けられている5インチベイ用内蔵機器に取り付ける
⑤ 信号ケーブルのマザーボード側のコネクタを、マザーボードに取り付ける

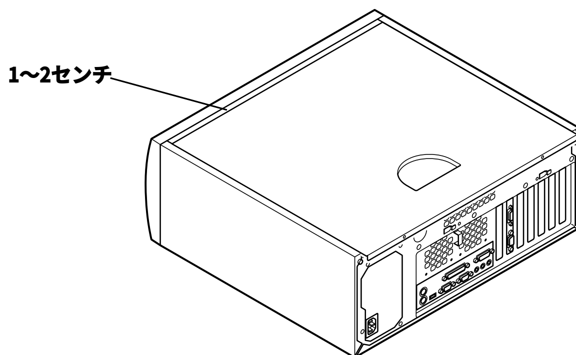
10 **フロントマスク表面の「NEC」のネームプレートを、フロントマスクの裏側から、ネームプレートの足4ヵ所をドライバの先などで押し込むようにして取り外し、90°回転させて、フロントマスクに取り付ける**



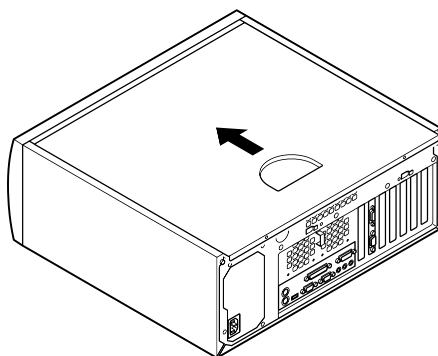
11 **フロントマスク下側のツメ⑤、④、③の順に本体側の穴にあわせてから、フロントマスク上側のツメ②、①の順に本体側の穴にあわせるように押し込む**



12 レフトカバーをフロントマスクから1〜2センチ間を空けて、本体の左右にあわせる



13 レフトカバーを本体に押し当て、前方にスライドさせる



14 「レフトカバーの取り外し」で取り外したネジ2本でレフトカバーを取り付ける（P.95）

15 ケーブル（電源ケーブル、アース線など）を本体のコネクタに取り付ける

16 盗難防止用の錠を使用している場合は取り付ける

PART

5

周辺機器を利用する

（マイクロタワー型）

ここでは、マイクロタワー型に取り付けられる周辺機器や内蔵機器の取り付け方法について説明します。

この章の読み方

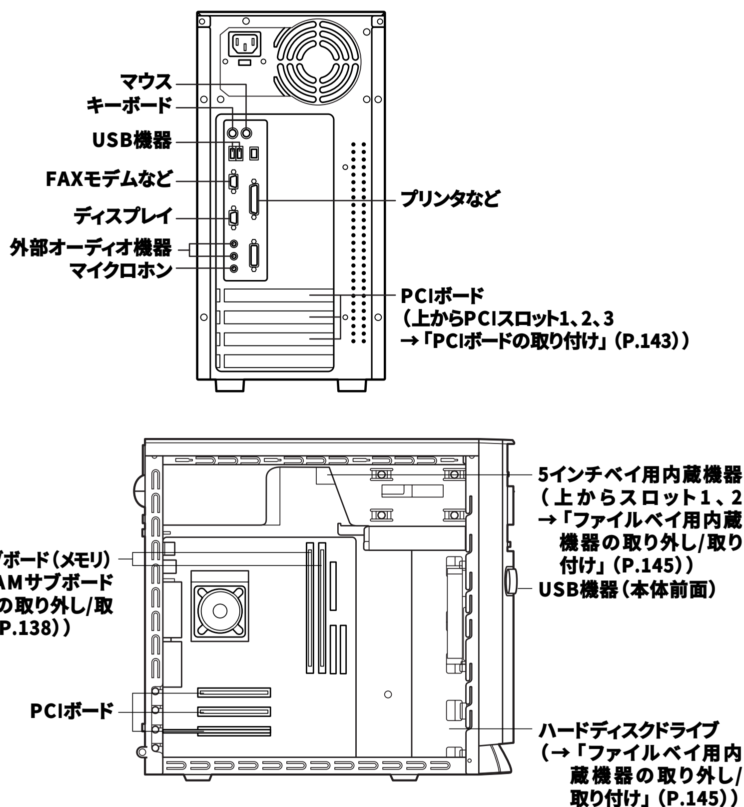
次ページの「接続できる周辺機器」を読んだ後に、目的にあわせて次に該当するページを読んでください。

この章の内容

接続できる周辺機器

次のような別売の周辺機器を取り付けられます。

チェック!! **MIDI/Joystickコネクタは利用できません。**



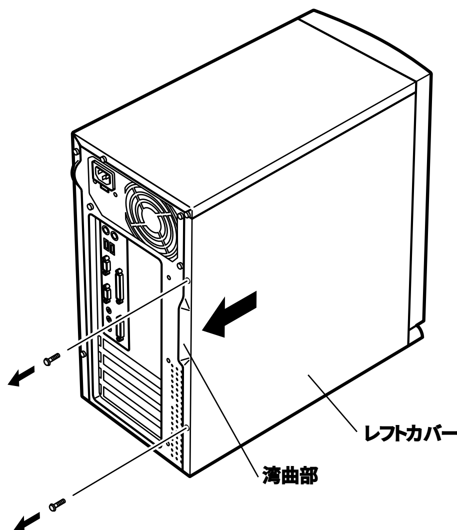
本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を取り付けるときなどに必要なカバー類の取り外し方について説明します。

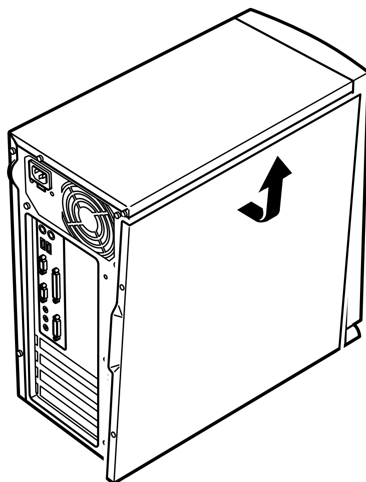
レフトカバーの取り外し

メモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を取り付ける場合は、本体のレフトカバーを取り外す必要があります。

1. 本機の電源を切る
2. 本体に接続されているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外す
3. 盗難防止用の錠を使用している場合は取り外す
4. 本体背面のネジ2本を外し、湾曲部に指をかけて、レフトカバーを後方へ引く



5 レフトカバー上部を外側に倒し、上に引き上げて取り外す



チェック!! 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

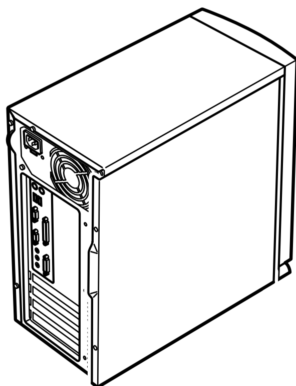
レフトカバーの取り付け

レフトカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けやすくなっています。

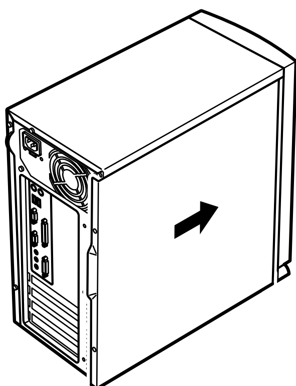
1 **レフトカバーの下部と本体の下部をあわせる**

2 **レフトカバーをフロントマスクから少し開くように載せる**

レフトカバー裏側のツメと本体の穴をあわせます。



3 **レフトカバーを本体に押し当て、矢印方向にスライドさせる**



4　「レフトカバーの取り外し」で取り外したネジ2本でレフトカバーを取り付ける

5　盗難防止用の錠を使用している場合は取り付ける

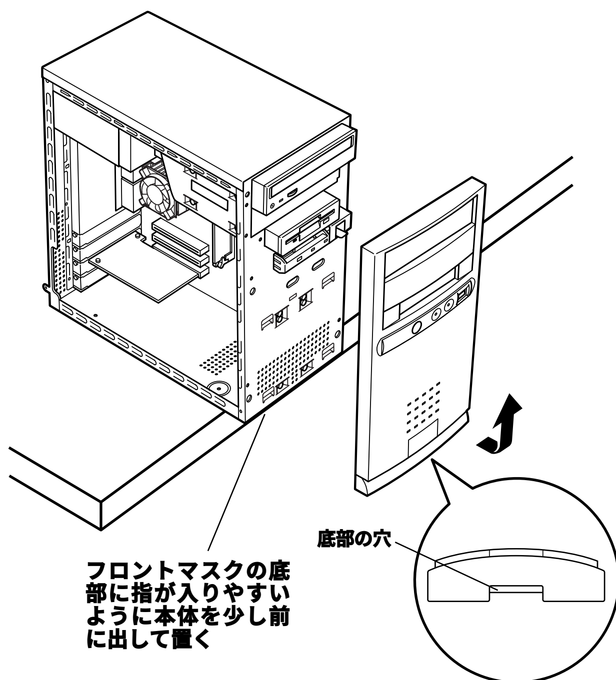
6　ケーブル(電源ケーブル、アース線など)を本体に取り付ける

フロントマスクの取り外し

ハードディスクドライブやPCカードドライブなど、ファイルベイ(5インチベイ、3.5インチベイ)に内蔵機器を取り付ける場合は、レフトカバーとフロントマスクを取り外す必要があります。

1　フロントマスク底部の穴に指を入れて、フロントマスクを手前に引いてから上に持ち上げて取り外す

チェック!! フロントマスクを取り外しやすいように机の端などでフロントマスクの取り外しを行ってください。

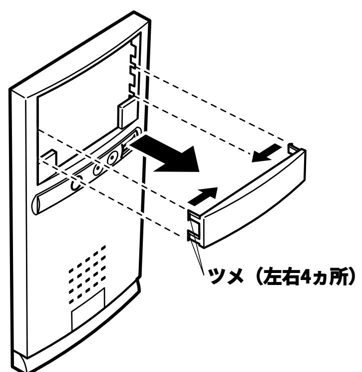


ファイルベイカバーの取り外し

PCカードドライブなどのリムーバブルメディア用の内蔵機器を、ファイルベイ(5インチベイ)に取り付ける場合は、ファイルベイカバーを取り外す必要があります。

1 ツメ(4ヵ所)を矢印の方向に押してロックを外す

2 ファイルベイカバーを内側から外側に押して取り外す



増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、別売の増設RAMサブボードを取り付けることで、メモリを増やすことができます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAMサブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。

チェック!! Windows Meを使用する場合、増設可能な最大メモリ容量は、512MBです。

取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、増設RAMサブボードを1枚単位で、最大2枚まで取り付けられます。
取り付け可能な増設RAMサブボードについては、NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」で紹介しています。
　http://121ware.com/
「レスキュー」→「商品の適合検索」をご覧ください。

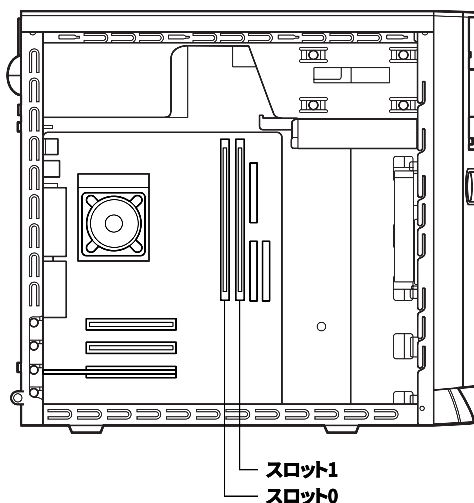
スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。スロット0から順番に取り付けることになります。メモリ容量による取り付け順序の制限はありません。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット0	スロット1
64MB	64MB	—
128MB	128MB	—
	64MB	64MB
192MB	128MB	64MB
256MB	256MB	—
	128MB	128MB
320MB	256MB	64MB
384MB	256MB	128MB
512MB	256MB	256MB

スロットの位置



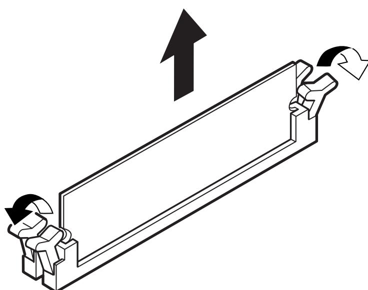
増設RAMサブボードの取り外し

チェック!! **増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。**

1. 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.133)

2. 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く

3 増設RAMサブボードの左右のレバーを外側に広げる



4 増設RAMサブボードを上へ引き抜くようにして取り外す

取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて保管してください。

5 静かに本体を縦置きに戻す

6 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.135)

増設RAMサブボードの取り付け

チェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードを破損させる原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

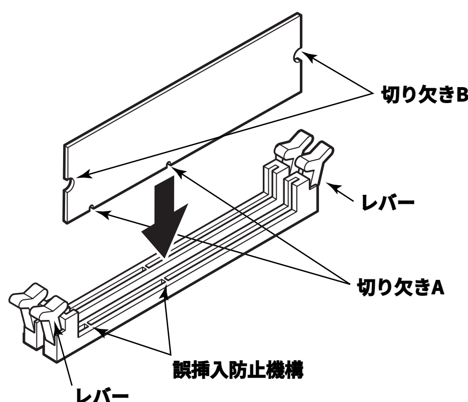
1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.133)

2 本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く

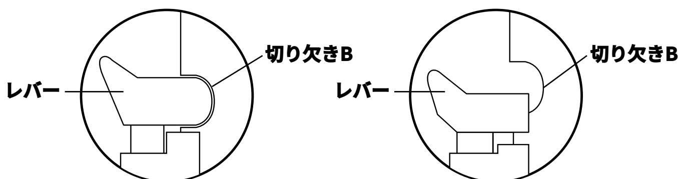
3 **左右のレバーが外側に開いていない場合は、外側に広げてから、増設RAMサブボードを切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込み、取り付ける**

スロット0、1の順番で取り付けてください。

チェック!! **増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。**



4 **左右2ヵ所のレバーが切り欠きBに掛かるように、増設RAMサブボードをしっかり押し込む**



チェック!! **増設RAMサブボードがしっかり押し込まれたことを確認してください。しっかり押し込まれていないと故障の原因となります。**

5 **静かに本体を縦置きに戻す**

6 **「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.135)**

メモリ容量の確認方法

■Windows XPの場合

1 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

2 「システムのタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。

■Windows 2000/Meの場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「システム」をダブルクリック

「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。



- 「BIOSセットアップメニュー」「Standard CMOS Setup」の「Extd Memory」でも、確認することができます。メモリの容量を確認すると、搭載されている容量より数MB少ない容量が表示されることがあります。これはメインメモリがシステムに割り当てられるためで、故障ではありません。
- 電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまでの時間は、メモリの容量によって変わってきます。これは、メモリの初期化のためです。256MB2枚増設した場合、約5秒かかります。



表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してください。

PCIボードの取り付け

PCIスロットには、本機の機能を拡張するための各種PCIボードを取り付けることができます。

取り付け前の確認

下記条件がありますので確認してください。

取り付け条件

PCIスロット1	フルサイズ(横幅約33cm)まで取り付け可能。ただし、内蔵3.5インチベイに機器を取り付けている場合、ハーフサイズ(横幅約17.6cm)まで取り付け可能。
PCIスロット2	
PCIスロット3	ハーフサイズ(横幅約17.6cm)まで取り付け可能。FAXモデルの場合、FAXモデムボード標準(固定)

PCIボードの取り付け

チェック!!

PCIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCIボードを扱うと、PCIボードを破損させる原因となります。PCIボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

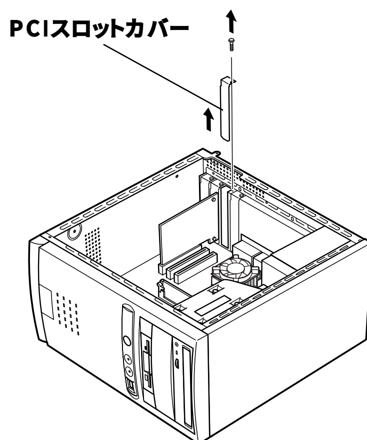
1 **「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す****(P.133)**

2 **本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に置く**

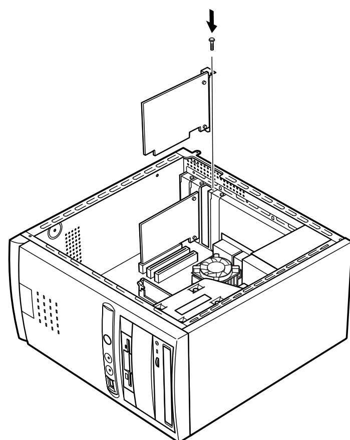


本体を横に倒すときは、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

3 **PCIスロットカバーのネジを1本外し、PCIスロットカバーを取り外す**



4 **PCIボードを取り付ける**



5 **手順3で取り外したネジを取り付ける**

6 **静かに本体を縦置きに戻す**

7 **「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける（P.135）**

ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け

取り外し/取り付け前の確認

本機にファイルベイ用内蔵機器を取り付ける前に、増設用のスロットの種類と数、電源ケーブル、信号ケーブル、ドライブの設定を確認します。

スロットの種類と数

本機には、増設用のファイルベイが以下の通り装備されています。

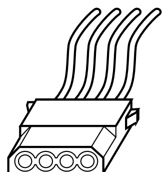
内蔵3.5インチベイ … 2スロット(モデルによって実装されているドライブ数が異なります。)
5インチベイ ………… 2スロット(モデルによって実装されているドライブ数が異なります。)

電源ケーブル

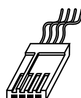
ファイルベイ用の電源ケーブルは2種類あり、本体に装備されています。

5インチベイ機器用	コネクタ(大)×2本(CD-ROMドライブまたは、CD-R/RWドライブで1本使用済。)
予備	コネクタ(小)×1本
内蔵3.5インチベイ機器用	コネクタ(大)×2本(モデルによって使用済のケーブル数が異なります。)
3.5インチベイ機器用	コネクタ(小)×1本(フロッピーディスクドライブで使用済)

電源ケーブルコネクタ(大)



電源ケーブルコネクタ(小)

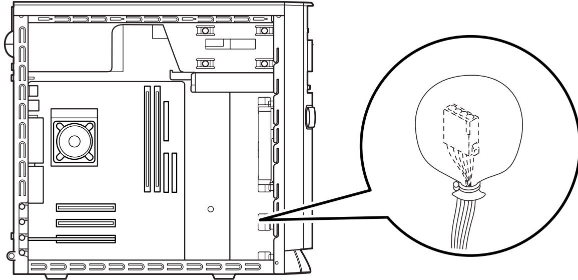


⚠注意





使用されていない電源ケーブルは、誤接触や帯電を防止するためのポリ袋で束ねられています。内蔵3.5インチベイ機器を取り付ける際には、電源ケーブルを取り出してください。ポリ袋は大切に保存しておいてください。



信号ケーブル

- 内蔵3.5インチベイ(増設ハードディスクドライブ、プライマリスレーブ)用IDE信号ケーブルが、標準で内蔵されているハードディスクドライブから分岐しています(モデルによって異なります)。
- 5インチベイ(セカンダリスレーブ)用IDE信号ケーブルが、CD-ROM、CD-R/RWドライブから分岐しています。

ドライブの設定

工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ、CD-ROM、CD-R/RWドライブ、フロッピーディスクドライブの設定は次の通りです。なお、別売の内蔵機器を取り付ける場合は、取り付ける内蔵機器のマニュアルをご覧の上、正しく設定してください。

- 標準ハードディスクドライブ(プライマリマスタ) … MasterまたはSingle(Slaveへの変更は不可)
- 増設ハードディスクドライブ(プライマリスレーブ) … Slave(Masterへの変更は不可)
- CD-ROMドライブ(セカンダリマスタ) ……………… Master(Slaveへの変更は不可)
- CD-R/RWドライブ(セカンダリマスタ) …………… Master(Slaveへの変更は不可)
- フロッピーディスクドライブ … ユニットアドレス＝0(0以外への変更は不可)

内蔵3.5インチベイ

内蔵3.5インチベイには、ハードディスクドライブを取り付けることができます。

ハードディスクドライブの取り付け

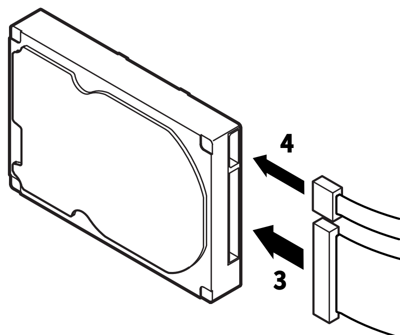

ここからは、増設用ハードディスクドライブのマニュアルを一緒に見ながら取り付けてください。

1. 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す（P.133）

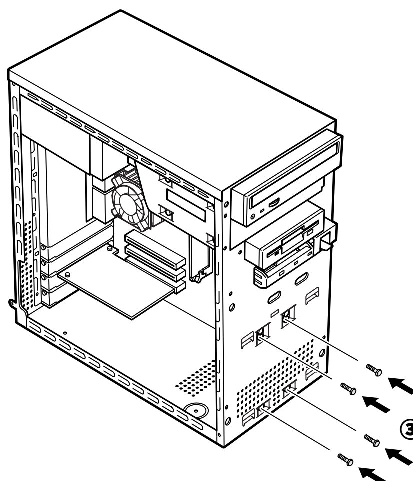
2. 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す（P.136）

3. SCSIインタフェース機器を取り付ける場合は、取り付けるSCSIインタフェース機器およびSCSIケーブルのマニュアルに従い、信号ケーブル、電源ケーブルの取り付けを行ってから手順5へ進む
   IDEインタフェースのハードディスクドライブを取り付ける場合は、標準で内蔵されているハードディスクドライブに取り付けられている信号ケーブルから分岐している信号ケーブルのコネクタを増設用ハードディスクドライブのコネクタに取り付ける

4 標準で内蔵されているハードディスクドライブの電源ケーブルから分岐している電源ケーブル(電源ケーブルコネクタ(大))をポリ袋から取り出し、増設用ハードディスクドライブのコネクタに取り付ける



5 増設用ハードディスクドライブに添付されているネジ４本で、上から①、②、③、④の順に増設用ハードディスクドライブを固定し、取り付ける



⚠注意

- ハードディスクドライブを取り付けるときは、ハードディスクドライブを落下させないように注意してください。
- ハードディスクドライブを取り付けるときは、ケーブル類をはさまないように注意してください。

6 フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける

7 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.135)

増設したハードディスクドライブを確認する

ハードディスクドライブは、フォーマットが必要なものがあります。ハードディスクのフォーマット方法は増設用ハードディスクドライブのマニュアルをご覧ください。
取り付けたハードディスクドライブは、次の方法で確認することができます。

■Windows XPの場合

1 本機の電源を入れ、Windowsを起動させる

2 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

■Windows 2000/Meの場合

1 本機の電源を入れ、Windowsを起動させる

2 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック

取り付けた分だけ、ハードディスクアイコンも増えて表示されています。
また、取り付けたハードディスクドライブが1台でも、フォーマットする際にハードディスクを分割した場合は、その分だけハードディスクアイコンが増えて表示されています。
取り付けたハードディスクドライブに、領域が1つも確保されていない場合は、「マイコンピュータ」のドライブアイコンは増えて表示されません。

増設したハードディスクドライブの取り外し

「ハードディスクドライブの取り付け」(P.147)の逆の手順で取り外してください。

5インチベイ

本機には5インチベイが2スロット用意されています。このベイには、CD-ROMドライブなどの内蔵機器を取り付けることができます。5インチベイに標準で内蔵されている5インチベイ用内蔵機器(CD-ROM、CD-R/RW)を取り外して、他のファイルベイ用内蔵機器などに交換することもできます。

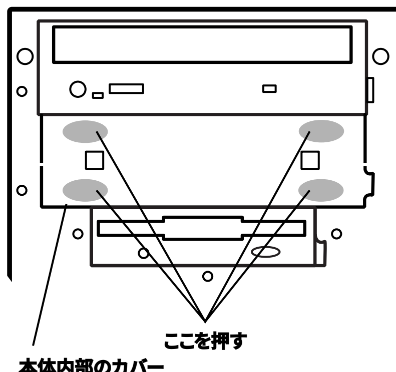
5インチベイ用内蔵機器の取り付け

1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す(P.133)

2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す(P.136)

3 初めてスロット2に内蔵機器を取り付ける場合、本体内部のカバーの上側と下側を、カバーが取れるまで数回から十数回、親指で交互に押し込む

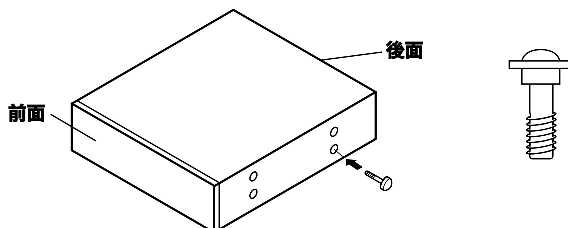
> ⚠注意
>
> 
>
>
> **5インチベイに内蔵機器を取り付ける際、本体内部のカバーを折り取った跡が尖っている場合がありますので、けがをしないように注意してください。**



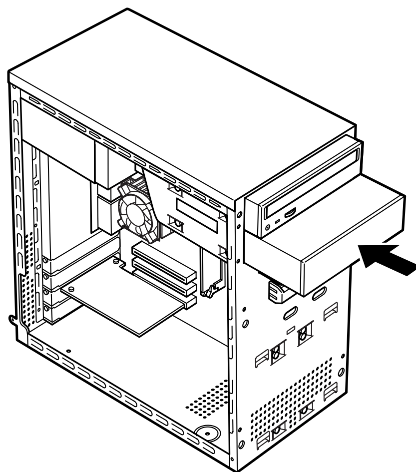
チェック!! 取り外したカバーを再度本体に取り付ける必要はありません。

4 取り付けたいスロットにすでに内蔵機器が取り付けられている場合は、「5インチベイ用内蔵機器の取り外し」(P.153)の手順で、取り付けられている内蔵機器を取り外す

5 5インチベイ用内蔵機器右側面の後側の下のネジ穴に、本体添付のネジを取り付ける



6 5インチベイ用内蔵機器を半分くらいまで挿入する



5
周辺機器を利用する(マイクロタワー型)

7　5インチベイ用内蔵機器にケーブルを取り付ける

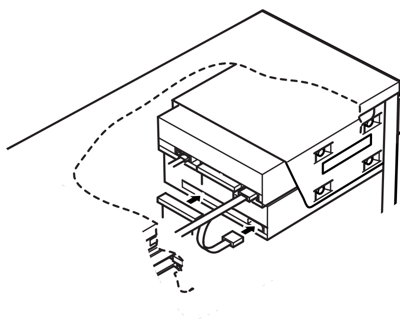
●IDEインタフェース以外の機器を取り付ける場合

①取り付ける機器およびケーブルのマニュアルに従い、信号ケーブル、電源ケーブルを取り付ける

●IDEインタフェースの機器を取り付ける場合

①標準で内蔵されているCD-ROM、CD-R/RWドライブの信号ケーブルから分岐している信号ケーブル、本機に装備されている電源ケーブルを取り付ける

②CD-ROM、CD-R/RWドライブなどの場合は、オーディオケーブルを取り付ける

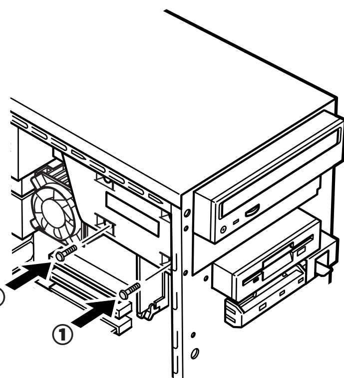




オーディオケーブル(CD-ROM、CD-R/RWドライブの場合)、信号ケーブル、電源ケーブルを取り付けにくい場合は、以下の手順で接続してください。

① 内蔵機器を取り付けようとしているスロットとは別のスロットにすでに内蔵機器が取り付けられている場合は、内蔵機器を取り外す
取り付けられていない場合は②へ進む
② マザーボードから、取り付けようとしている内蔵機器に接続する信号ケーブルを取り外す
③ 取り付けようとしている内蔵機器にオーディオケーブル(CD-ROM、CD-R/RWドライブの場合)、信号ケーブル、電源ケーブルを取り付ける
④ ②の逆の手順で、信号ケーブルをマザーボードに取り付ける
⑤ ①の逆の手順で内蔵機器を取り付ける

8 5インチベイ用内蔵機器を奥まで押し込み、5インチベイ用内蔵機器の側面を、増設用機器に添付されているネジ2本で①、②の順に固定し、5インチベイ用内蔵機器を取り付ける



9 リムーバブルファイルを取り付ける場合は、「ファイルベイカバーの取り外し」の手順でファイルベイカバーを取り外す（P.137）

10 フロントマスクを、取り外したときと逆の手順で取り付ける

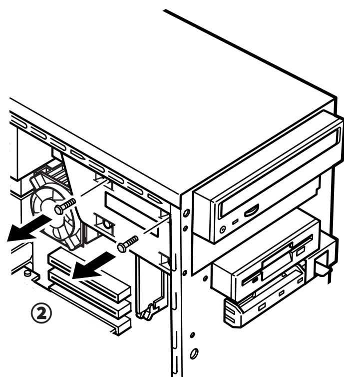
11 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける（P.135）

5インチベイ用内蔵機器の取り外し

1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す（P.133）

2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す（P.136）

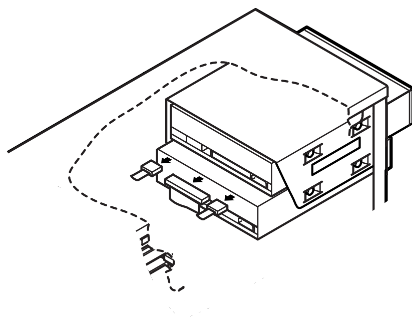
3 5インチベイ用内蔵機器を固定しているネジ2本を①、②の順で取り外す



4 スロット2に内蔵機器がすでに取り付けられていて、スロット1の内蔵機器を取り外そうとする場合、スロット2に取り付けられている内蔵機器を固定しているネジ2本を取り外し、内蔵機器を半分ほど前へ押し出す

内蔵機器があらかじめ取り付けられていない場合や、スロット2の内蔵機器を取り外す場合は、手順5へ進む

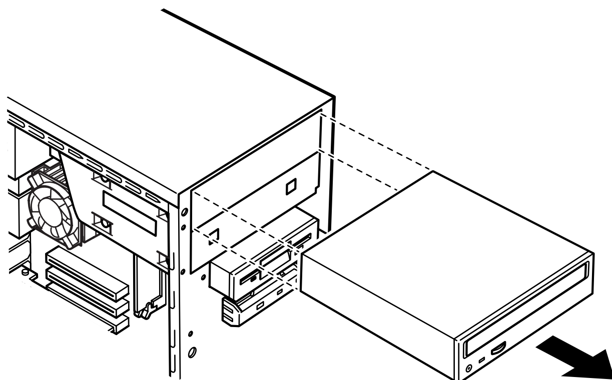
5 取り外そうとする内蔵機器を少し前に押し出し、電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブル（CD-ROM、CD-R/RWドライブなどの場合）を取り外す



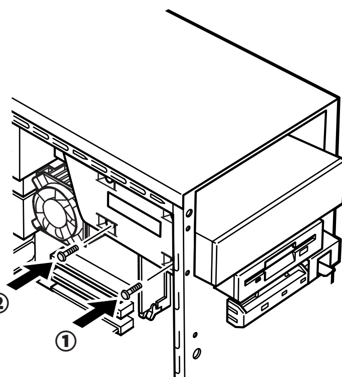
チェック!! **電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブル(CD-ROM、CD-R/RWドライブなどの場合)が取り外しにくい場合は、以下の手順で取り外してください。**

① 取り外そうとしている内蔵機器以外に、内蔵機器が取り付けられている場合は、あらかじめ、対象外の内蔵機器を取り外しておく
② マザーボードから内蔵機器に接続されている信号ケーブルを取り外す
③ 内蔵機器を全部引き抜いてから、電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブル(CD-ROM、CD-R/RWドライブなどの場合)を取り外す
④ ②の逆の手順で、信号ケーブルをマザーボードに取り付ける
⑤ ①の逆の手順で、5インチベイ用内蔵機器を取り付ける

6　内蔵機器を引き抜くようにして取り外す



7 手順4で内蔵機器を半分ほど前へ押し出した場合は、内蔵機器を奥まで押し込み、側面を取り外したネジ2本で①、②の順に固定し、5インチベイ用内蔵機器を取り付ける



8 スロット2が空きスロットになった場合は、「ファイルベイカバーの取り外し」の逆の手順で、ファイルベイカバーを取り付ける（P.137）

9 「フロントマスクの取り外し」の逆の手順で、フロントマスクを取り付ける（P.136）

10 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける（P.135）

PART

6

付　録

この章の読み方

順番に読んでいく必要はありません。目的にあわせて該当するページをお読みください。

この章の内容

ストラップスイッチの設定(スリムタワー型)

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを解除したいときに、ストラップスイッチを利用します。

設定前の確認

パスワード解除の設定をする前に、ピンセットやラジオペンチなど、小さな物を掴むのに適した工具を用意してください。

パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)

本機では、BIOSセットアップメニューを使用してスーパバイザパスワードとユーザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れてしまった場合、次の方法でパスワードを解除することができます。パスワードを忘れていない場合のパスワードの解除方法は、『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART2　システムの設定(スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型の場合)」の「Securityの設定」をご覧ください。

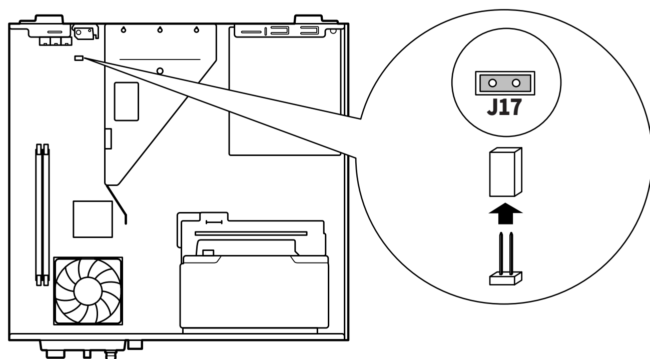

チェック!!

無断でパスワードを解除することを防ぐために、セキュリティロックに錠を取り付けることをおすすめします。

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.25)

2 ストラップスイッチのジャンパをピンセットなどを使って、次の図のように引き抜く

抜いたジャンパはなくさないように保管してください。



3 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける（P.28）

4 電源を入れ、Windowsを起動させる

チェック!! 必ずルーフカバーを取り付けた後、電源を入れてください。

5 Windowsを終了させ、電源を切る

6 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す（P.25）

7 手順2で引き抜いたジャンパをピンセットなどを使ってストラップスイッチに差し込む

8 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける（P.28）

以上で、パスワード解除のストラップスイッチの設定は終了です。

ストラップスイッチの設定(省スペース型)

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを解除したいときに、ストラップスイッチを利用します。

設定前の確認

パスワード解除の設定をする前に、ピンセットやラジオペンチなど、小さな物を摘むのに適した工具を用意してください。

パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)

本機では、BIOSセットアップメニューを使用してスーパバイザパスワードとユーザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れてしまった場合、次の方法でパスワードを解除することができます。パスワードを忘れていない場合のパスワードの解除の方法は、『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART2　システム設定(スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型の場合)」の「Securityの設定」をご覧ください。



無断でパスワードを解除されることを防ぐために、セキュリティロックに錠を取り付けることをおすすめします。

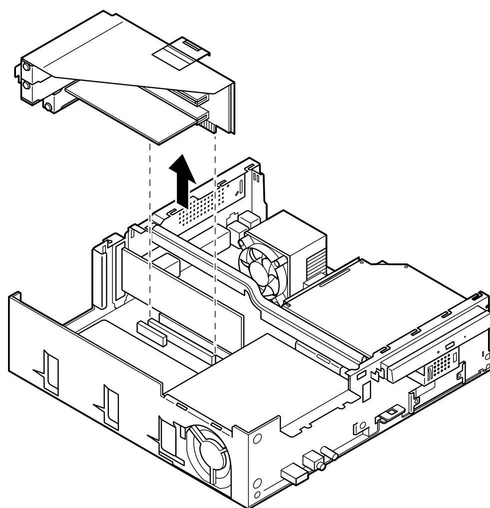
1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す(P.57)

2 PCIユニットをマザーボードから引き抜くようにして取り外す

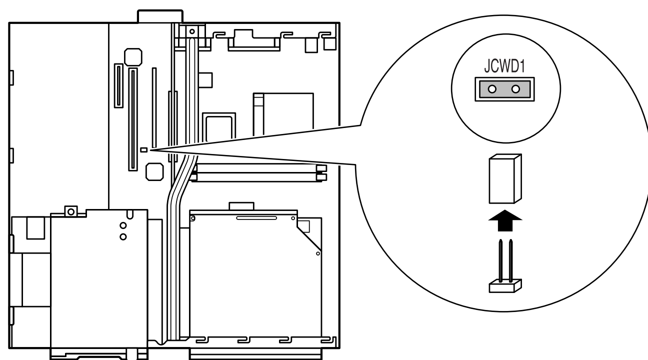
⚠注意



PCIユニットをマザーボードから引き抜くときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



3 **ストラップスイッチのジャンパをピンセットなどを使って、次の図のように引き抜く**
抜いたジャンパはなくさないように保管してください。



4 ツメに注意しながら、PCIユニットをマザーボードに差し込み、取り付ける

⚠注意

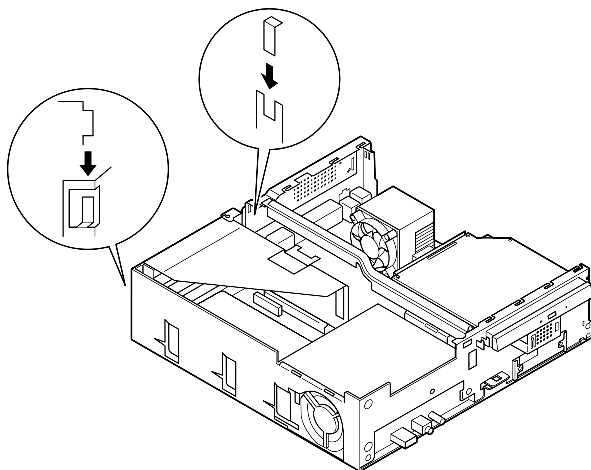


PCIユニットをマザーボードに差し込むときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

⚠注意



PCIユニットをマザーボードに差し込むとき、ケーブル類をはさまないように注意してください。



5 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける（P.60）

6 電源を入れ、Windowsを起動させる

チェック!! **必ずルーフカバーを取り付けた後、電源を入れてください。**

7 Windowsを終了させ、電源を切る

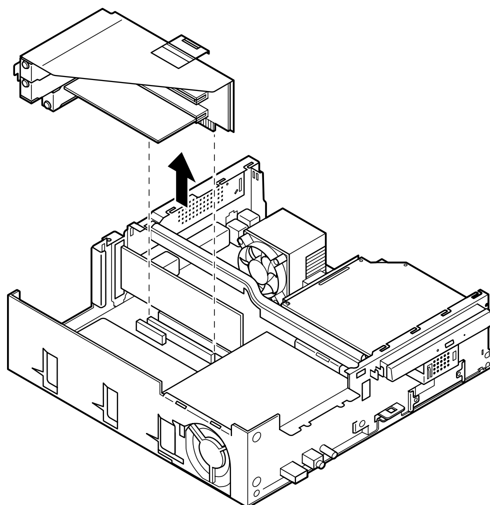
8 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す
（P.57）

9 PCIユニットをマザーボードから引き抜くようにして取り外す

⚠注意



PCIユニットをマザーボードから引き抜くときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



10 手順3で引き抜いたジャンパをピンセットなどを使ってストラップスイッチに差し込む

6 付録

11 ツメに注意しながら、PCIユニットをマザーボードに差し込み、取り付ける

⚠注意

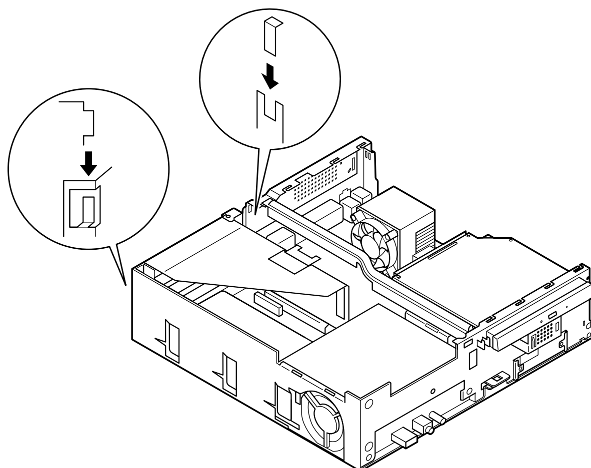


PCIユニットをマザーボードに差し込むときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

⚠注意



PCIユニットをマザーボードに差し込むとき、ケーブル類をはさまないように注意してください。



12 「ルーフカバーの取り付け」の手順でルーフカバーを取り付ける(P.60)

以上で、パスワード解除のストラップスイッチの設定は終了です。

ストラップスイッチの設定(ミニタワー型)

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを解除したいときに、ストラップスイッチを利用します。

パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)

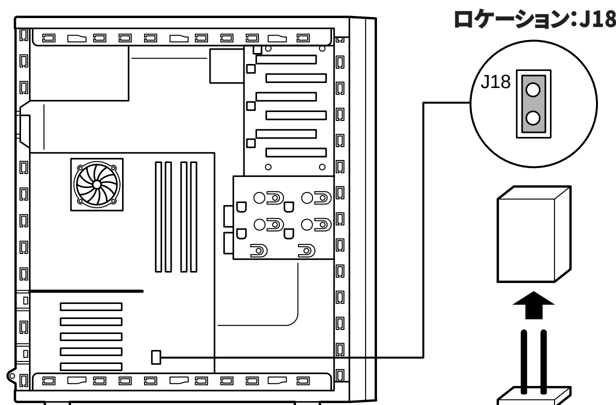
本機では、BIOSセットアップメニューを使用してスーパバイザパスワードとユーザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れてしまった場合、次の方法でパスワードを解除することができます。パスワードを忘れていない場合のパスワードの解除の方法は、『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART2　システム設定(スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型の場合)」の「セキュリティの設定」をご覧ください。



無断でパスワードを解除されることを防ぐために、セキュリティロックに錠を取り付けることをおすすめします。

1 「レフトカバーの取り外し」の手順でレフトカバーを取り外す(P.95)

2 ストラップスイッチのジャンパを次の図のように引き抜く
抜いたジャンパはなくさないように保管してください。



3 「レフトカバーの取り付け」の手順でレフトカバーを取り付ける（P.96）

4 電源を入れ、Windowsを起動させる

チェック!! **必ずレフトカバーを取り付けた後、電源を入れてください。**

5 Windowsを終了させ、電源を切る

6 「レフトカバーの取り外し」の手順でレフトカバーを取り外す（P.95）

7 手順2で引き抜いたジャンパをストラップスイッチに差し込む

8 「レフトカバーの取り付け」の手順でレフトカバーを取り付ける（P.96）

以上で、パスワード解除のストラップスイッチの設定は終了です。

ストラップスイッチの設定(マイクロタワー型)

BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを解除したいときに、ストラップスイッチを利用します。

パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)

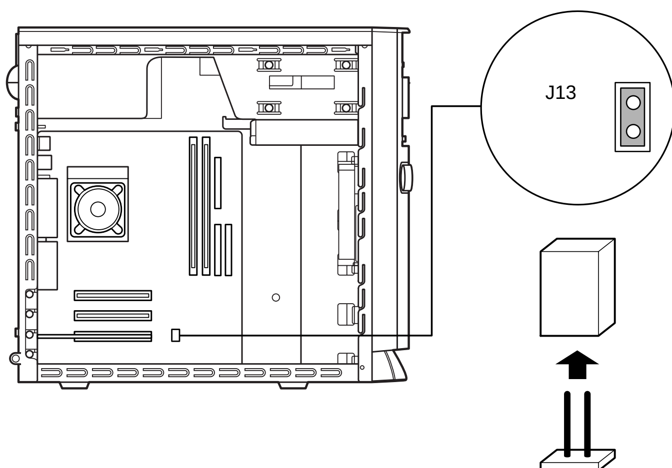
本機では、BIOSセットアップメニューを使用してスーパバイザパスワードとユーザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れてしまった場合、次の方法でパスワードを解除することができます。パスワードを忘れていない場合のパスワードの解除の方法は、『活用ガイド　ハードウェア編』「PART3　システム設定(マイクロタワー型の場合)」の「Security Setupの設定」をご覧ください。

チェック!!

無断でパスワードを解除されることを防ぐために、セキュリティロックに錠を取り付けることをおすすめします。

1 「レフトカバーの取り外し」の手順でレフトカバーを取り外す(P.133)

2　ストラップスイッチのジャンパを次の図のように引き抜く



3　「レフトカバーの取り付け」の手順でレフトカバーを取り付ける（P.135）

4　電源を入れ、Windowsを起動させる

チェック‼　必ずレフトカバーを取り付けた後、電源を入れてください。

5　Windowsを終了させ、電源を切る

6　「レフトカバーの取り外し」の手順でレフトカバーを取り外す（P.133）

7　手順2で引き抜いたジャンパをストラップスイッチに差し込む

8 「レフトカバーの取り付け」の手順でレフトカバーを取り付ける（P.135）

以上で、パスワード解除のストラップスイッチの設定は終了です。

6 付録



ハードウェア拡張ガイド

PC98-NX シリーズ
Mate /Mate R

スリムタワー型
省スペース型
ミニタワー型
マイクロタワー型

初版　2002年5月
NEC
P

853-810067-349-A